

取扱説明書

デジタルストレージオシロスコープ DCS-9700 SERIES DCS-9707 DCS-9707 DCS-9710 DCS-9720 DCS-9730 DCS-9730D



保証について

このたびは、当社計測器をお買い上げいただきまして誠にありがとうご ざいます。

ご使用に際し、本器の性能を十分に発揮していただくために、本取扱説 明書(以下本説明書と記します)を最後までよくお読みいただき、正しい 使い方により、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。本説 明書は、大切に保管してください。

お買い上げの明細書(納品書、領収書等)は保証書の代わりとなりますので、大切に保管してください。

アフターサービスに関しまして、また、商品についてご不明な点がございましたら、当社・サービスセンターまでお問い合わせください。

保証 本計測器は、正常な使用状態で発生した故障について、 お買い上げの日より3年間無償修理を致します。なお液晶 ディスプレイは1年、ケーブル類の付属品は除きます。 保証期間内でも次の場合は有償修理になります。 1.火災、天災、異常電圧等による故障、損傷。 2.不当な修理、調整、改造がなされた場合。 3.取扱いが不適当なために生じた故障、損傷。 4.故障が本製品以外の原因による場合。 5.お買上げ明細書類のご提示がない場合。 この保証は日本国内に限り有効です。

日本国内で販売された製品が海外に持ち出されて故障が生じた場合、 基本的には日本国内での修理対応となります。 保証期間内であっても、当社までの輸送費はご負担いただきます。

本説明書中に企マークが記載された項目があります。この企マークは 本器を使用されるお客様の安全と本器を破壊と損傷から保護するため に大切な注意項目です。よくお読みになり正しくご使用ください。

- 商標・登録商標について 本説明書に記載されている会社名および商品名は、それぞれの国 と地域における各社および各団体の商標または登録商標です。
- 取扱説明書について 本説明書の内容の一部または全部を転載する場合は、著作権者の 許諾を必要とします。また、製品の仕様および本説明書の内容は改 善のため予告無く変更することがありますのであらかじめご了承くだ さい。最新版は当社ホームページを参照してください。

■ 輸出について

本器は、日本国内専用モデルです。本製品を国外に持ち出す場合 または輸出する場合には、事前に当社・各営業所または当社代理 店(取扱店)にご相談ください。

	保証について	
	製品を安全にご使用いただくために	-VI
第	1 章 概要	1
1		1
	1-2 アカわサリ	
	1-2. ノノビソソ	5
	1-3. ハイルクト観	4
	1-3-1. 前面ハヤル	4
	1-3-2. 月面ハイル	10
	1-3-3. ノイベンレイ	. IZ
	1-4. セットアッフ	. 14
	1-4-1. テルトスタントを使用する	. 14
	1-4-2. モジュールの取り付け	. 14
	1-4-3. フントウェアのインストール	10
	1-4-4. 电源を入れる	. 10
	1-4-6 フニュアルの体田方注	10
	1-4-7 ファームウェアの更新方法	. 13
쎀		20
क	うく 早 シイシン リノアレンス	20
4	2-1. メニュー ツリー / 探作のショートカット	.25
	2-1-1. メニューツリーの表現	.25
	2-1-2. Acquire キー	. 26
	2-1-3. Acquire キー – セクメントメニュー	. 26
	2-1-4. Autoset +-	. 27
	2-1-5. CHI ~ 4 +	. 27
	2-1-0. J-9/2+-	. 28
	2 + 1 + 7. Display $7 - 1$. 20
	2-1-8 ペルクヤー 2-1-9 演算キー	. 29
	2-1-5.	30
	2-1-10. 例足り	31
	2-1-12 Run/Stop +-	31
	2-1-13 REF +-	31
	2-1-14 Save/Recall +-	32
	2-1-15. Test +-	.33
	2-1-16. Test +	. 33
	2-1-17. トリガタイプ メニュー	. 34
	2-1-18. エッジトリガ メニュー	. 34
	2-1-19. 遅延トリガメニュー	. 34
	2-1-20. パルストリガメニュー	. 35
	2-1-21. ビデオトリガメニュー	. 35
	2-1-22. ラントトリガメニュー	. 35
	2-1-23. Rise & Fall Time トリガメニュー	. 36

2-1-24. Timeout トリガメニュー	
2-1-25. ロジックトリガメニュー	
2-1-26. バストリガメニュー	
2-1-27. Utility キー	
2-1-28. Utility キー – インターフェース	
2-1-29. Utility キー – ファイル操作	
2-1-30. Utility キー – デモ信号出力	
2-1-31. サーチ – エッジ	
2-1-32. サーチ – パルス	
2-1-33. サーチ – ラント	
2-1-34. サーチ – Rise/FallTime	
2-1-35. サーチ – ロジック	
2-1-36. サーチ – バス	
2-1-37. Zoom キー	
2-1-38. Option +—	
2-2. Default 設定	43
2-3. 内蔵ヘルプ	
第3章 測定	45
3-1. 基本測定	45
3-1-1. チャンネルを有効にする	
3-1-2. オートセット	
3-1-3. Run/Stop	
3-1-4. 水平ポジション/スケール	
3-1-5. 垂直ポジション/スケール	
3-2. 自動測定	50
3-2-1. 測定項目	50
3-2-2. 測定項目の追加	53
3-2-3. 測定項目の削除	55
3-2-4. ゲートモード	55
3-2-5. 全測定項目の表示	57
3-2-6. ハイ-ロー機能	
3-2-7. 統計	
3-3. カーソル測定	60
3-3-1. 水平カーソルを使用する	60
3-3-2. 垂直カーソルを使用する	63
3-4. 演算機能	66
3-4-1. 演算機能について	66
3-4-2. 加算/減算/乗算/除算	67
3-4-3. FFT	68
3-4-4. 高度な演算	70
3-4-5. F(x)の編集	71
第4章 構成	73
4-1. アクイジション	73

4-1-1. アクイジションモードの選択	73
4-1-2. デジタルフィルタ	74
4-1-3. X-Y モードの波形を表示	75
4-1-4. サンプリングモードの設定	77
4-1-5. レコード長の設定	78
4-2. セグメントメモリ アクイジションの概要	. 79
4-2-1. セグメント表示	81
4-2-2. セグメントの数を設定します。	81
4-2-3. セグメントメモリの実行	82
4-2-4. セグメントメモリの移動	83
4-2-5. 各セグメント間を再生	84
4-2-6. セグメントの測定	84
4-2-7. Display All	85
4-2-8. 自動測定	86
4-2-9. セグメント情報	88
4-3. 画面	. 89
4-3-1. 波形をドットまたはベクトルで表示	89
4-3-2. パーシスタンスのレベルを設定する	89
4-3-3. 輝度レベルを設定します。	90
4-3-4. 波形の階調表示タイプを設定	91
4-3-5. 画面目盛を設定	92
4-3-6. 波形更新の停止(Run/Stop)	92
4-3-7.メニューをオフにする	93
4-4. 水平ビュー	. 93
4-4-1. 波形を水平方向に移動する。	93
4-4-2. 水平スケールの選択	94
4-4-3. 波形更新モードの選択	95
4-4-4.水平方向に波形をズーム(拡大)する	96
4-4-5. Play/Pause	97
4-5. 垂直ビュー(チャンネル)	. 99
4-5-1. 波形のポジションを垂直方向に移動する	99
4-5-2. 垂直スケールの選択	100
4-5-3. 結合モードの選択	100
4-5-4. 入力インピーダンス	101
4-5-5. 波形を垂直方向に反転する	101
4-5-6. 帯域制限	101
4-5-7. GND/画面中央からの垂直方向への拡大	102
4-5-8. プローブタイプの選択	103
4-5-9. プローブ減衰率の選択	103
4-5-10. スキュー補正の設定	104
4-6. トリガ	104
4-6-1. トリガタイプの概要	104
4-6-2. トリガパラメータの概要	106
4-6-3. ホールドオフ時間の設定	108

4-6-4. トリガモードを設定	109
4-6-5. エッジトリガを使用する	
4-6-6. 高度な遅延トリガを使用する	111
4-6-7. パルストリガを使用する	112
4-6-8. ビデオトリガを使用する	113
4-6-9. ラントトリガを使用する	114
4-6-10. Rise & Fallトリガを使用する	115
4-6-11. Timeoutトリガを使用する	116
4-7. サーチ	117
4-7-1. サーチイベントの構成	118
4-7-2. サーチ設定をトリガヘコピーまたはトリガからコピー	-する 119
4-7-3. サーチイベントのナビゲーション	119
4-7-4. サーチマーカを保存	120
4-7-5. シングルサーチイベントの設定/クリア	122
4-7-6. Play / Pause	122
4-8. システム情報 / 言語 / 日付と時間	124
4-8-1.メニュー言語の設定	124
4-8-2. システム情報を見る	125
4-8-3. メモリの消去	125
4-8-4. ブザー音のオン/オフ	126
4-8-5. 日付と時間を設定します。	126
4-8-6. デモ用信号出力	127
毎 5 音 ナプシュンハフトウェアトアプリケーション	120
另 5 早 オ ノンヨンノノトウエア とア ノリク 一ション	129
第 5 早 オフションファトウェアとアフリケーション 5-1. アプリケーション	
第 5 早 オ ノンヨンノンドウェア とア フリウ ― ション 5-1. アプリケーション 5-1-1. 概要	
第 5 早 オ ノンヨンノンドウェアとア フリウ ― ション 5-1. アプリケーション 5-1-1. 概要 5-1-2. アプリケーションの実行	
第 5 早 オ ノンョンノンドウェアとア フリウ ―ション … 5-1. アプリケーション … 5-1-1. 概要 … 5-1-2. アプリケーションの実行 … 5-1-3. アプリケーションの削除 …	
第 5 早 オ ノンヨンノンドウェアとア フリウ ーンヨン … 5-1. アプリケーション … 5-1-1. 概要 5-1-2. アプリケーションの実行 … 5-1-3. アプリケーションの削除 … 5-1-4. Go-NoGo テストを使用する …	
 第 5 早 オ ノンヨンノンドウェアとア フリウ ― ション … 5-1. アプリケーション … 5-1-1. 概要 … 5-1-2. アプリケーションの実行 … 5-1-3. アプリケーションの削除 … 5-1-4. Go-NoGo テストを使用する … 5-2. オプションソフトウェア … 	
 第 5 早 オ ノションノンドウェア とア フリウ ーション … 5-1. アプリケーション … 5-1-1. 概要 … 5-1-2. アプリケーションの実行 … 5-1-3. アプリケーションの削除 … 5-1-4. Go-NoGo テストを使用する … 5-2. オプションソフトウェア … 5-2-1. オプションのソフトウェアを有効にする … 	
 第 5 早 オ ノションノンドウェアとア ブリウ ーション … 5-1. アプリケーション … 5-1-1. 概要 … 5-1-2. アプリケーションの実行 … 5-1-3. アプリケーションの削除 … 5-1-4. Go-NoGo テストを使用する … 5-2. オプションソフトウェア … 5-2-1. オプションのソフトウェアを有効にする … 5-2-2. オプションソフトウェアを実行する … 	129
 第 5 早 オ ノションノンドウェアとア ブリウ ーション … 5-1. アプリケーション … 5-1-1. 概要 … 5-1-2. アプリケーションの実行 … 5-1-3. アプリケーションの削除 … 5-1-4. Go-NoGo テストを使用する … 5-2. オプションソフトウェア … 5-2-1. オプションのソフトウェアを有効にする … 5-2-2. オプションソフトウェアを実行する … 5-2-3. オプションのソフトウェアを削除する … 	129
 第 5 早 オ ノションノンドウェアとア ブリウ ーション … 5-1. アプリケーション … 5-1-1. 概要 … 5-1-2. アプリケーションの実行 … 5-1-3. アプリケーションの削除 … 5-1-4. Go-NoGo テストを使用する … 5-2. オプションソフトウェア … 5-2-1. オプションのソフトウェアを有効にする … 5-2-2. オプションソフトウェアを実行する … 5-2-3. オプションのソフトウェアを削除する … 第 6 章 保存/呼び出し … 	129
 第 5 早 オ ノションノンドウェアとア ブリウ ーション 5-1. アプリケーション 5-1-1. 概要 5-1-2. アプリケーションの実行 5-1-3. アプリケーションの削除 5-1-4. Go-NoGo テストを使用する 5-1-4. Go-NoGo テストを使用する 5-2. オプションソフトウェア 5-2.1. オプションのソフトウェアを有効にする 5-2-3. オプションのソフトウェアを削除する 第 6 章 保存/呼び出し	129
 第 5 早 オ ノションノンドウェアとア ブリウ ーション … 5-1. アプリケーション … 5-1-1. 概要 … 5-1-2. アプリケーションの実行 … 5-1-3. アプリケーションの削除 … 5-1-4. Go-NoGo テストを使用する … 5-2. オプションソフトウェア … 5-2-1. オプションソフトウェアを有効にする … 5-2-2. オプションソフトウェアを実行する … 5-2-3. オプションのソフトウェアを削除する … 第 6 章 保存/呼び出し … 6-1. ファイル形式/Utility … 6-1-1. 画像ファイルの形式 	129
 第 5 早 オ ノションノンドウェアとア ブリウ ーション … 5-1. アプリケーション … 5-1-1. 概要 … 5-1-2. アプリケーションの実行 … 5-1-3. アプリケーションの削除 … 5-1-4. Go-NoGo テストを使用する … 5-2. オプションソフトウェア … 5-2-1. オプションのソフトウェアを有効にする … 5-2-2. オプションソフトウェアを実行する … 5-2-3. オプションのソフトウェアを削除する … 第 6 章 保存/呼び出し … 6-1. ファイル形式/Utility … 6-1-1. 画像ファイルの形式 … 6-1-2. 波形ファイルの形式 … 	129 129 129 129 130 131 135 135 135 135 136 137 137 137 137
 第 5 早 オ ノションノンドウェアとア ブリウ ーション … 5-1. アプリケーション … 5-1-1. 概要 … 5-1-2. アプリケーションの実行 … 5-1-3. アプリケーションの削除 … 5-1-4. Go-NoGo テストを使用する … 5-2. オプションソフトウェア … 5-2-1. オプションのソフトウェアを有効にする … 5-2-2. オプションソフトウェアを実行する … 5-2-3. オプションのソフトウェアを削除する … 第 6 章 保存/呼び出し … 6-1. ファイル形式/Utility … 6-1-1. 画像ファイルの形式 … 6-1-3. CSV 形式のファイル … 	123 129 129 129 130 131 135 135 135 135 135 135 136 137 137 137 137 137
 第 5 早 オ ノションノンドウェアとア ブリウ ーション … 5-1. アプリケーション … 5-1-1. 概要 … 5-1-2. アプリケーションの実行 … 5-1-3. アプリケーションの削除 … 5-1-4. Go-NoGo テストを使用する … 5-2. オプションソフトウェア … 5-2-1. オプションのソフトウェアを有効にする … 5-2-2. オプションソフトウェアを実行する … 5-2-3. オプションのソフトウェアを削除する … 第 6 章 保存/呼び出し … 6-1. ファイル形式/Utility … 6-1-1. 画像ファイルの形式 … 6-1-3. CSV 形式のファイル … 6-1-4. 設定ファイルの形式 … 	129
 第 5 早 オ ノションノンドウェアとア ブリウ ーション … 5-1. アプリケーション … 5-1-1. 概要 … 5-1-2. アプリケーションの実行 … 5-1-3. アプリケーションの削除 … 5-1-4. Go-NoGo テストを使用する … 5-2. オプションソフトウェア … 5-2-1. オプションのソフトウェアを有効にする … 5-2-2. オプションソフトウェアを実行する … 5-2-3. オプションのソフトウェアを削除する … 第 6 章 保存/呼び出し … 6-1. ファイル形式/Utility … 6-1-1. 画像ファイルの形式 … 6-1-4. 設定ファイルの形式 … 6-2. ラベルの作成と編集 … 	129 129 129 129 130 131 135 135 135 135 135 136 137 137 137 137 137 137 138 140
 第 5 早 オ ノションノンドウェアとア ブリウ ーション … 5-1. アプリケーション … 5-1-1. 概要 … 5-1-2. アプリケーションの実行 … 5-1-3. アプリケーションの削除 … 5-1-4. Go-NoGo テストを使用する … 5-2. オプションソフトウェア … 5-2-1. オプションのソフトウェアを有効にする … 5-2-2. オプションのソフトウェアを削除する … 5-2-3. オプションのソフトウェアを削除する … 第 6 章 保存/呼び出し … 6-1-1. 画像ファイルの形式 … 6-1-2. 波形ファイルの形式 … 6-1-4. 設定ファイルの形式 … 6-2. ラベルの作成と編集 … 6-3. 保存 	129
 第 5 早 オノションノンドウェアとアノリウ ーション … 5-1. アプリケーション … 5-1-1. 概要 … 5-1-2. アプリケーションの実行 … 5-1-3. アプリケーションの削除 … 5-1-4. Go-NoGo テストを使用する … 5-2. オプションソフトウェア … 5-2-1. オプションのソフトウェアを有効にする … 5-2-2. オプションソフトウェアを削除する … 5-2-3. オプションのソフトウェアを削除する … 5-2-3. オプションのソフトウェアを削除する … 6-1. ファイル形式/Utility … 6-1-1. 画像ファイルの形式 … 6-1-2. 波形ファイルの形式 … 6-1-4. 設定ファイルの形式 … 6-2. ラベルの作成と編集 … 6-3. 保存 … 6-3.1 ファイルの種類/ソース/保存先 	129
 第 5 早 オ ノションノンドウェアとア ブリウ ーション … 5-1. アプリケーション … 5-1-1. 概要 … 5-1-2. アプリケーションの実行 … 5-1-3. アプリケーションの削除 … 5-1-4. Go-NoGo テストを使用する … 5-2. オプションソフトウェア … 5-2-1. オプションのソフトウェアを有効にする … 5-2-2. オプションソフトウェアを実行する … 5-2-3. オプションのソフトウェアを削除する … 5-2-3. オプションのソフトウェアを削除する … 6-1. ファイル形式/Utility … 6-1-1. 画像ファイルの形式 … 6-1-2. 波形ファイルの形式 … 6-1-4. 設定ファイルの形式 … 6-2. ラベルの作成と編集 … 6-3. 保存 … 6-3-1. ファイルの種類/ソース/保存先 … 6-3-2 画面イメージの保存 	123
 第 5 早 オ ノションノンドウェアとア ブリウ ーション … 5-1. アプリケーション … 5-1-1. 概要 … 5-1-2. アプリケーションの実行 … 5-1-3. アプリケーションの削除 … 5-1-4. Go-NoGo テストを使用する … 5-2. オプションソフトウェア … 5-2-1. オプションのソフトウェアを有効にする … 5-2-2. オプションソフトウェアを実行する … 5-2-3. オプションのソフトウェアを削除する … 5-2-3. オプションのソフトウェアを削除する … 6-1. ファイル形式/Utility … 6-1-1. 画像ファイルの形式 … 6-1-2. 波形ファイルの形式 … 6-1-4. 設定ファイルの形式 … 6-1-4. 設定ファイルの形式 … 6-1-4. 設定ファイルの形式 … 6-1-5. 保存 … 6-3. 保存 … 6-3. 保存 … 6-3-2. 画面イメージの保存 … 6-3-3. 波形データの保存 … 	129 129 129 129 130 131 135 135 135 135 135 135 135 137 137 137 137 137 137 137 137 138 140 141 143 144

6-3-4. パネル設定を保存する	146
6-4. 呼び出し	148
6-4-1. ファイルの種類/ソース/保存先	148
6-4-2. パネルの初期設定を呼出す	148
6-4-3. 波形の呼び出し	150
6-4-4. パネル設定の呼出し	151
6-5. リファレンス波形	152
6-5-1. リファレンス波形の呼出と表示	152
第7章 ファイル操作	154
7-1. ファイル ナビゲーション	154
7-2. フォルダの作成	156
7-3. ファイル名を変更する。	157
7-4. ファイルの削除	158
7-5. USB ヘファイルをコピーする	158
第8章 ハードコピーキー	160
8-1. プリンタ I/O の設定	160
8-2. 印刷の実行	161
8-3. 保存 – Hardcopy キー	161
第9章 リモートコントロール	164
9-1. USB インターフェースの構成	164
9-2. RS-232C インターフェースの構成	164
9-3. イーサーネットインターフェースの構成	166
9-4. ソケットサーバの構成	168
9-5. GP-IBの構成	168
9-6. USB/RS-232C 機能チェック	169
9-7. ソケットサーバの機能チェック	170
9-8. GP-IB の機能チェック	173
9-9. web サーバの概要	175
第 10 章 メンテナンス	176
10-1. SPC 機能の使用方法	176
10-2. 垂直確度の校正	177
10-3 プローブ補正	178
	180
カーチーリ緊	100
11-1-1 モデル別仕様	100 180
11-1-2 共通什様	180
11-1-3. プローブ仕様	184
11-2. DCS-9700 寸法図	186
11-3. よくある質問集	187

■ はじめに

製品を安全にご使用いただくため、ご使用前に本説明書を最後まで お読みください。製品の正しい使い方をご理解のうえ、ご使用くださ い。

本説明書をご覧になっても、使い方がよくわからない場合は、当社・ サービスセンターまでお問合せください。本説明書をお読みになった 後は、いつでも必要なときご覧になれるように、保管しておいてください。

■ 絵表示について

本説明書および製品には、製品を安全に使用するうえで必要な警告、および注意事項を示す、下記の絵表示が表示されています。

<絵表示>	
Â	製品および本説明書にこの絵表示が表示されて いる箇所がある場合は、その部分で誤った使い 方をすると使用者の身体、および製品に重大な 危険を生ずる可能性があることを表します。 この絵表示部分を使用する際は、必ず、本説明 書を参照する必要があります。
▲ 警告	この表示を無視して、誤った使い方をすると、使 用者が死亡または重傷を負う可能性があり、そ の危険を避けるための警告事項が記載されてい ることを表します。
<u>注意</u>	この表示を無視して、誤った使い方をすると、使 用者が軽度の傷害を負うか、または製品に損害 を生ずる恐れがあり、その危険を避けるための 注意事項が記載されていることを表します。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、 その他の不具合、または、この製品の使用によって受けられた損害 については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一 切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。



- 製品のケースおよびパネルは外さないでください。 製品のケースおよびパネルは、いかなる目的があっても、使用者は 絶対に外さないでください。使用者の感電事故、および火災を発生 する危険があります。
- 製品を使用する際のご注意 下記に示す使用上の注意事項は、使用者の身体・生命に対する危険、および製品の損傷・劣化などを避けるためのものです。必ず下記の警告・注意事項を守ってご使用ください。

■ 電源に関する警告事項

- 電源電圧について 製品の定格電源電圧は、AC100VからAC230VまたはAC240 Vです。
 製品個々の定格電圧は製品背面と本説明書"定格"欄の表示を ご確認ください。
 日本国内向けおよびAC125Vまでの商用電源電圧地域向けモ デルに付属された電源コードは定格AC125V仕様のため、
 AC125Vを超えた電源電圧で使用される場合は電源コードの変 更が必要になります。電源コードをAC250V仕様のものに変更しないで使用された場合、感電・火災の危険が生じます。
 製品が電源電圧切換え方式の場合、電源電圧の切換え方法は、 製品個々の取扱説明書の電圧切換えの章をご覧ください。
- 電源コードについて

【重要】同梱、もしくは製品に取り付けられている電源コードは本 製品以外に使用できません。

付属の電源コードが損傷した場合は、使用を中止し、当社・サー ビスセンターまでご連絡ください。電源コードが損傷したままご使 用になると、感電・火災の原因となることがあります。

 保護用ヒューズについて 入力保護用ヒューズが溶断した場合、製品は動作しません。
 外部にヒューズホルダが配置されている製品は、ヒューズを交換 することができます。交換方法は、本説明書のヒューズ交換の章 をご覧ください。

交換手段のない場合は、使用者は、ヒューズを交換することがで きません。 ヒューズが切れた場合は、ケースを開けず、当社・サービスセン ターまでご連絡ください、当社でヒューズ交換をいたします。 使用者が間違えてヒューズを交換された場合、火災を生じる危険 があります。

■ 接地に関する警告事項

製品の前面パネルまたは、背面パネルに GND 端子がある場合は、 安全に使用するため、必ず接地してからご使用ください。

■ 設置環境に関する警告事項

 動作温度・湿度について 製品は、"定格"欄に示されている動作温度の範囲内でご使用く ださい。製品の通風孔をふさいだ状態や、周辺の温度が高い状 態で使用すると、火災の危険があります。 製品は、"定格"欄に示されている動作湿度の範囲内でご使用く ださい。湿度差のある部屋への移動時など、急激な湿度変化に よる結露にご注意ください。また、濡れた手で製品を操作しない でください。感電および火災の危険があります。

 ガス中での使用について 可燃性ガス、爆発性ガスまたは蒸気が発生あるいは貯蔵されて いる場所、およびその周辺での使用は、爆発および火災の危険 があります。このような環境下では、製品を動作させないでください。
 また、腐食性ガスが発生または充満している場所、およびその周

また、腐食性カスか発生または充満している場所、およひその周辺で使用すると製品に重大な損傷を与えますので、このような環境でのご使用はお止めください。

- 設置場所について 傾いた場所や振動がある場所に置かないでください。落ちたり、 倒れたりして破損や怪我の原因になります。
- 異物を入れないこと 通風孔から製品内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、 水をこぼしたりしないでください。

使用中の異常に関する警告事項 製品を使用中に、製品より"発煙"、"発火"、"異臭"、"異音"などの異常を生じた場合は、ただちに使用を中止してください。電源スイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントから抜くなどして、電源供給を遮断した後、当社・サービスセンターまで、ご連絡ください。

- 測定に関する警告時候
 - 高電圧の箇所を測定するときは、直接測定箇所に手を触れないように充分注意してください。感電する危険があります。
 - オシロスコープと被測定物にプローブおよび入力ケーブルを接続 する場合、アース側の端子は必ず被測定物の接地電位に接続し てください。
 - アース側の端子を接地電位以外に接続すると、感電や、オシロスコープ、接続している他の機器の破損などの事故を生じる恐れがあります。

(下図《悪い例》参照)

オシロスコープの筐体(ケース、シャーシ)は、全ての入力 BNCコ ネクタのアース側と接続されています。プローブおよび入力ケー ブルのアース側は接地電位に接続し、オシロスコープの筐体と 同電位となるようにしてください。

オシロスコープの筐体と接続されている部分は、"入出力端子 (BNC コネクタ)"のアース側、接地端子および3芯電源コード用 AC インレットの保護接地端子となっています。



●《悪い例》の接続では、 +90Vが筐体を通して接 地され被測定物を破損し ますので、このような接 続はお止めください。ま た、オシロスコープの接 地が行われていないと、 筐体に+90Vがかかり、 感電事故を生じますの で、接地を行って使用し てください。

フローティング電位を測定する場合は CH1 および CH2 を用い た差動方式による測定をお勧めします。(下図 《良い例》 参照) 《良い例》



入出力端子について 入力端子には、製品を破損しないために最大入力の仕様が決めら

本説明書の"定格"欄に記載された仕様を超えた入力は供給しないでください。

また、出力端子へは外部より電力を供給しないでください。製品故障の原因になります。

■ 校正について

れています。

製品は工場出荷時、厳正な品質管理のもと性能・仕様の確認を実施していますが、部品などの経年変化などにより、その性能・仕様に 多少の変化が生じることがあります。製品の性能・仕様を安定した 状態でお使いいただくため、定期的な校正をお勧めいたします。 製品校正についてのご相談は、当社・サービスセンターへご連絡く ださい。

■ 日常のお手入れについて

製品のケース、パネル、つまみなどの汚れを清掃する際は、シンナ ーやベンジンなどの溶剤は避けてください。塗装がはがれ、樹脂面 が侵されることがあります。

ケース、パネル、つまみなどを拭くときは、中性洗剤を含ませた柔ら かい布で軽く拭き取ってください。

また、清掃のときは製品の中に水、洗剤、その他の異物などが入らないようご注意ください。

製品の中に液体、金属などが入ると、感電および火災の原因となり ます。

清掃のときは電源コードのプラグをコンセントから抜くなどして、電源 供給を遮断してからおこなってください。

以上の警告事項および注意事項を守り、正しく安全にご使用ください。 また、本説明書には個々の項目でも、注意事項が記載されていますの で、使用時にはそれらの注意事項を守り正しくご使用ください。 本説明書の内容でご不明な点、またはお気付きの点がありましたら、 当社・サービスセンターまでご連絡いただきますよう、併せてお願いい たします。

第1章 概要

この章は、機能紹介や前面/背面パネル概要を含め、簡単に本器に ついて説明します。概要を読んだ後で、セットアップの章を参照して適 切に操作環境を設定してください。



1-1. DCS-9700 シリーズの特長

モデル	周波数帯域 入	カチャンネル	
DCS-9707	70MHz	4	
DCS-9710	100MHz	4	
DCS-9720	200MHz	4	
DCS-9730	300MHz	4	
DCS-9707D	70MHz	2	
DCS-9710D	100MHz	2	
DCS-9720D	200MHz	2	
DCS-9730D	300MHz	2	
	本書は 4 チャン	ノネル入力機種を基本に認	記述してあり
∠>注意	ます。2 チャン	ネル入力機種は CH3 及び	バ CH4 に関
する設定ができません。			

性能	 8 インチ TFT カラーSVGA ディスプレイ 全モデル最高リアルタイムサンプリングレート 2GS/s と等価サンプリングレート 100GS/s メモリ長:最長 2M ポイント、 波形更新レート:80,000 波形/秒 垂直感度:1mV/div~10V/div.
機能	 ロジックアナライザモジュール(オプション): 8または16チャンネルのデジタル入力とシリアルバス(I2C、SPI、UART)とパラレルバストリガ DDSファンクションジェネレータモジュール(オプション).
	 セグメントメモリ:信号の必要な部分の詳細のみを 選択的にキャプチャするようにアクイジションメモリ を最適化します。最大 2048の連続したセグメント 波形は、8nsのタイムタグ分解能でキャプチャする ことができます。セグメントメモリは、アナログ/デジ タル両方のチャンネルで使用することができます。 ・強化された検索機能:異なる信号イベントの数を 検索できます。 オンライン画面ヘルプ 64 MB内部フラッシュディスク
インターフェース	 USB ホストポート:外部保存メモリ用。前面と背面 パネル USB デバイスポート:背面パネル。リモートコント ロールまたはプリンタへ印刷 デモ出力 GP-IB (オプション) RS-232C ポート 校正出力 SVGA 出力,Ethernet ポート(オプション)

1-2. アクセサリ

	. / /	
標準 アクセサリ	型式	説明
電源コード	仕向による	
プローブ	GTP-070B-4	70 MHz 電圧プローブ
	GTP-150B-4	 150 MHz 雷圧プローブ
	GTP-250A-2	250 MHz 雷圧プローブ
	GTP-350A-2	200 MHz 電圧プローブ
オプション	型式	説明
	DS2-LAN	イーサーネット,SVGA 出力
	DS2-GPIB	GP-IB インターフェース
	DS2-FGN	DDS ファンクションジェネレータ
	DS2-08LA	8-ch ロジックアナライザカード、
		8-ch ロジックアナライザ用プローブ
		(GTL-08LA)
	DS2-16LA	16-ch ロジックアナライザカード、
		16-ch ロジックアナライザ用プローブ (GTL-16LA)
アクセサリ	型式	
	GTL-110	BNC-BNC ケーブル
	GTL-232	RS-232C クロスケーブル
		メス(9ピン)-メス(9ピン)
	GTL-246	USB ケーブル、USB2.0A-B タイプ
	GTL-08LA	8-ch ロジックアナライザ用プローブ
	GTL-16LA	16-ch ロジックアナライザ用プローブ
ドライバ		
	USBドライバ	アクセサリ CD に同梱
	LabVIEW ドライバ	弊社 HP よりダウンロード可能

1-3. パネル外観 1-3-1. 前面パネル **4チャンネルモデル**



2チャンネルモデル



LCD ディスプレ	広視野角8イン	ッチ SVGA TFT カラ-	-液晶、
イ	800 x 600		
メニューオフキー	Menu Off	Menu Off キーを押	すと画面上の
	\bigcirc	メニューを非表示に	できます。
オプションキー	Option	オプションキーでロ	ジックアナライ
		ザのような取り付け	たオプションに
		利用可能にします。	
メニューキー	画面側面のメニ	ユーと画面下部のメ	ニューキーは、
	画面上のユーサ	ゲーインターフェースの	のソフトメニュー
	から選択を行う	ために使用します。	
	メニュー項目を	選択するには、画面	下にある7つの
	ボタンを使用しる	ます。	
	メニューから変	数やオプションを選択	マするには画面
	側面のメニュー	キーを使用します。言	羊細は、19ペー
	ジを参照くださし	1	
		·	₽−O II
		画面右キー ――	tă
	画	面下メニューキー	Mere Of
Hardoony +_	Hardcopy	<u> </u>	
Hardcopy +-			、改化に心し
	(\bigcirc)	(、クイックセーノイ	20190792
	\sim	かできます。	
		詳細については 16	1 ページ(保存)
		や 161 ページ(印刷	削)を参照してく
		ださい。	

VARIABLE ツマ ミと Select キー	VARIABLE	VARIABLE ツマミは、値の増減 や、パラメータを変更するために使 用します。 Select キーは、パラメータの選択 に使用します。
Function +	ファンクションキ	ーは、DCS-9700上のファンクショ
Measure	ンを入力し、設た Measure	定するために使用します。 自動測定の構成と実行をします。
Cursor	Cursor	カーソル測定の構成と実行をしま す。
Test	Test	て TEST アプリケーションの構成と実 行をします。
Acquire	Acquire	セグメントメモリを含むアクイジションモードを設定します。
Display	Display	Display の設定をします。
Help	Help	ヘルプメニューを表示します。
Save/Recall	Save/Recall	波形、画面イメージ、パネル設定の
Utility	Utility	Hardcopyキー、日時、言語とデモ 信号出力の設定をします。また、フ アイル操作メニューにアクセスしま す。
Autoset	Autoset	Autosetキーは、選択されているチャンネルが適切に表示できるように 自動的にトリガレベル、水平時間、 および垂直感度を設定します。

Run/Stop +—	Run/Stop	信号取込 (47 ページ) を停止 (STOP) または連続更新(RUN)し ます。RUN・STOP キーは、セグメ ントメモリの停止/実行にも使用しま す。 Run 状態で緑色に点灯 Stop 状態で赤色に点灯
Single	Single	アクイジションモードをシングルトリガモードにします。
Default 設定	Default	インカードラス(急) Cロビニス クレスタッ オシロスコープの設定をデフォルト (初期設定)に戻します。
水平コントロー ル	水平コントローノ ズーム、イベント す	レは、カーソルの位置を変更、波形 ・の検索、水平時間の設定をしま
水平ポジション		ポジションツマミは画面の波形位置 を調整します。
TIME/DIV	TIME/DIV	Time/Div ツマミは、水平時間を変 更するのに使用します。
Zoom	Zoom	水平ポジションツマミと組み合わせ
Play/Pause		Play/Pause キーは、各サーチイベ ント中に効果的に"PLAY"を使用す ると、連続して各検索イベントを表 示することができます。 また、ズームモードでは、ズームウ インドウで全メモリ波形を再生する ために使用します
Search	Search	<i>検索</i> キーは、検索の種類、ソース、 およびしきい値を設定するための
		検索機能メニューを表示します。

Set/Clear	Set/Clear	Set/Clearキーは、検索機能を使 用するときに指定するポイントを設 定またはクリアするのに使用しま す。
トリガコントロー ル Level ツマミ	トリガコントロー ントロールに使し LEVEL	,。 ルは、トリガレベルとオプションを⊐ 用します。 トリガレベルを設定するために使用 します。
Trigger メニュー キー 50%キー	Menu 50 %	トリガメニューを表示するために使 用します。 トリガレベルを信号の中央(50%)
Force - Trig	Force-Trig	に、設定します。 Forceキーを押されたら一度トリガ を強制的にかけます。
垂直 POSITION	POSITION	波形の垂直ポジションを設定しま す。
チャンネル メニューキー	СН1	CH1~4キーを押しチャンネルの オン/オフと構成メニューを表示しま す。
VOLTS/DIV ツマミ	VOLTS / DIV	・。 チャンネルの垂直感度を設定しま す。 1mV/div~10V/div、1-2-5 ステップ
外部トリガ入力		外部トリガ信号を入力します。 (104 ページ). 入力インピーダンス: 1MΩ 電圧入力: ±15V(peak) EXT トリガ入力容量:約 16pF.
Math +-	MATH	<i>MATHキー</i> は、演算機能の設定を します。
Reference +	REF	リファレンスキーは、リファレンス波 形を設定またはオン/オフします。

BUS +—	BUS	BUSキーは、パラレルとシリアル バス(UART、I ² CとSPI)の設定を します。オプションのロジックアナラ イザ機能(DS2-08LA/DS2-16LA)
チャンネル入力	CH1	を含んでいます。 信号を入力します。 入力インピーダンス:1MΩ 入力容量:16pF 最大入力電圧:300V CAT I
USB ホスト ポート		Type A、USB1.1/2.0 準拠。 外部メモリヘデータを保存または呼 び出し。
グランド端子		共通グランドに DUT のグランド線 を接続します。
デモ信号とプロ ーブ補正信号出 カ		デモ出力は、トリガ出力または、デ モンストレーションのための基本波 形を出力するためのと、プローブ補 正のための多機能信号出力です。 (FM 信号、UART、I2C、SPI). 初期設定では3つのデモ出力は 次のように設定されています: 1:トリガ出力 2:FM 波形 3:プローブ補正信号 CAL (Demo 3)出力は、プローブ 補正用 2Vp-p、方形波です。 詳細は、127ページを参照くださ
ロジックアナライ ザポート	Logic Analyzer	い。 ロジックアナライザポートは、ロジッ クアナライザのプローブを接続しま す。このポートは、オプションのロジ ックアナライザを取り付けたときの み使用できます。



1-3-2. 背面パネル



USB ホストポー ト

HOST

USB ホストポートは、USB メモリ	ノヘ
のデータ転送に使用します。	



スロット

背面パネルの USB ポートは、同時に使用すること ができません。USB ホストポートに USB フラッシュ ドライブを挿入すると、USB デバイスポートを無効 にします。 RS232 RS-232C ポート RS-232C は、リモートコントロール m 00000 $\widehat{\mathbb{O}}$ に使用します。 モジュール SLOT 1 ť**r**mm ©\{[]/) (D R [] ſ SLOT 2 モジュールスロットは、オプションのモジュールを取 り付けるのに使用します。 DS2-LAN :LAN.SVGA 出力 DS2-GPIB :GP-IB ポート :8 チャンネルロジックアナライザ DS2-08LA DS2-16LA :16 チャンネルロジックアナライザ :信号発生器 DS2-FGN 電源コードを挿入します:AC 電源、 電源入力ソケット AC 100~240V, 50/60Hz 電源投入手順は、16ページを参照 ください。 ケンジントン盗難防止スロットに準 盗難防止スロット K 耞 グランドストラッ グランドストラップ用 プコネクタ GO / NO GO Go-No Go 出力 Go-No Go テストの結果(131 ペー ジ)を 500µs パルスとして出力しま す。 OPEN

COLLECTOR

1-3-3. ディスプレイ



アナログ波形	アナログ入力信号波形を表示します。			
	チャンネル 1: 黄色 チャンネル 2:青色			
	チャンネル 3:紫色 チャンネル 4:緑色			
BUS 波形	パラレルまたはシリアルバスのバス波形を表示しま			
	す。値は、16進(Hex)または2進(binary)で表示			
	されます。			
デジタル波形	デジタルチャンネル波形を表示します。最大 16 チャ			
	ンネルまで表示。			
チャンネル	チャンネルインジケータは、各表示チャンネルのゼ			
インジケータ	ロレベルを表示しています。それぞれの表示チャン			
	ネルは単色で表示されます。			
	アナログチャンネルインジケータ			
	B バスインジケータ(B)			
	3 デジタルチャンネルインジケータ			
	① リファレンス波形インジケータ			
	🎦 演算インジケータ			
トリガポジション	トリガのポジションを表示します。			
水平情報	水平軸のスケールとポジションを表示します。			
日付と時間	21 Jul 2012 現在の日付と時間を表示します。			
	13:41:24 (126 ページ)			

トリガレベル	▲ 画面右側にトリガレベル位置を表示します。		
メモリバー			
		全メモリ と位置を	こ比較した表示波形の比率 表示。(93 ページ)
トリガ情報	Trig'd	トリガ状館	態
	PrTrig	プリトリナ	Ĵ
	Trig? Stop	非トリガギ は更新さ トリガ停」 RUN/ST ロールモ	伏態。ノーマルの場合、画面 ∺れません。 止。 シングルモードまたは ™OP(47 ページ)で表示。 ☆ード
	Auto	<u></u>	リガモード
アクイジション モード	トリガ詳細にて 「」 アクイジション ください。	ついては、 ノーマル ピーク検 平均モー	104 ページを参照ください。 モード 出モード -ド ついては、73 ページを参照
トリガ信号 周波数	F 60.90F <21	133Hz Hz	トリガソースの周波数を表示します。 周波数が 2Hz 未満のときの表示(最低周波数)
トリガの状態	1 ∱ -4.	64V DC	トリガのソース、スロープ、 雷圧と結合。
水平状態	<mark>5us ①</mark> トリガの状態□	0.000s こついては	電圧に開口。 水平時間とポジション 104 ページを参照くださ
チャンネル情報	1 20		チャンネル 1、DC 結合、 2V/div
	チャンネルの さい。	詳細につし	ヽては 99 ページを参照くだ

1-4. セットアップ

1-4-1. チルトスタントを使用する

チルト チルトにするには、足を前に出します。



直立

直立させるには足を本体下へ戻します。



1-4-2. モジュールの取り付け

概要	DCS-9700 シリーズは、背面パネルのモジュール スロットに取り付けできる多くのオプションモジュー ルを用意しています。これらのモジュールを取り付 ける場合は、電源をオンする前に取り付けてくださ
	し、 。
A 	モジュールは、ホットスワップ対応ではありません。
▲▲注意	モジュールの取付け、または取外しは、必ず電源を
	オフにしてください。
手順	1. オプションのモジュールを取り付ける前には、必
	ず電源をオフにしてください。

 モジュールカバーを支えるタブをアンロック位置 までスライドさせてください。そして、次にモジュ ールカバーを外します。



オプションモジュールを挿入し取り付けます。モジュールベイのスロットへ確実に挿入してください。



4. タブをスライドさせロック位置まで戻します。

1-4-3. ソフトウェアのインストール

概要	DCS-9700 シリーズには、機能拡張ができるソフト ウェアパッケージがあります。どのソフトウェアも使 用するには起動キーが必要です。それぞれのソフト ウェアパッケージには、それぞれ異なる起動キーが 必要です。
手順	1. ハードウェアモジュールを取り付ける必要がある 場合は、14ページを参照ください。
パネル操作	 前面パネルの USB A ポートに希望 するオプションのシリアルキーUSB を挿入してください。
	3 Utilityキーを押し、次にファイル操

Utility ファイル操作

作キーを押します。

4. USB のファイルパスを希望するファ VARIABLE イルに移動してください。 希望のインストールファイルに移動 したら、インストールを開始するに は、Select キーを押します。



- 5. インストールは数秒で完了します。完了すると、 ポップアップメッセージが表示され、本器を再起 動するよう要求されます。
- 6. 本器の電源をオフし、再度電源をオンして再起 動します。
- 1-4-4. 電源を入れる





本器は、電源をオフする直前の状態で起動します。 デ初期設定に戻す場合は、前面パネルの DEFAULTキーを押すことで戻すことが出来ます。 詳細については、148ページを参照してください。

1-4-5. 初めて使用する場合

概要	この章では、信号の接続、スケールの調整、プローブ			
	の補正をする方法について説明します。新しい環境			
	で本器の操作を開始する前に、機器の性能を最大限			
	に実行できるようにするためにこれらの手順を実行し			
	てください。			
1. 電源を入れる	前のページを参照ください。			
2. 日付と時間 の設定	日付と時間を設定します。 126ページ			
3. システムの	工場出荷時の設定を呼び出し、システ Default			
リセット	ムをリセットします。前面パネルの			
	Defaultキーを押します。詳細について			
	は、148ページを参照ください。			
4. オプション	オプションのファンクションジェネレータ 14 ページ			
モジュール	のようなオプションハードウェアモジュ			
	ールを使用するには、事前に取り付け			
	られている必要があります。			
5. オプションの	オプションのソフトウェアパッケージを 15ページ			
ソフトウェア	使用するにはインストールされている			
	必要があります。			
6. プローブの	チャンネル1の入力にプローブを取り付け、プローブ			
取り付け	の選択を CAL 信号出力 (Demo3 出力)に接続しま			
	す。この DEMO3 の出力は、初期設定では 2Vp-p、1			
	kHz の方形波を出力します。プローブにアッテネータ			
	がある場合には、アッテネータを×10 にしてください。			



1-4-6. マニュアルの使用方法

概要

この章では、DCS-9700シリーズを操作するため に、このマニュアルで使用する表記規則について説 明します。

マニュアルを通して、「メニューキーを押す」は、画 面下または画面右の任意のメニューアイコンやパラ メータをキーで直接参照します。

マニュアルで値またはパラメータを「切り換える」 は、対応するメニューの項目を押してください。メニ ューの項目を押すと、値またはパラメータが切り換 わります。

有効なパラメータが各メニュー項目で明るく表示されます。例えば、下記の例では結合が DC に設定されています。もし、メニューの項目がある値またはパラメータから別の値に切り替えられるとき、使用できるオプションが表示されていて、現在のオプションが明るく表示されています。下記の例では、スロープは、立ち上がりスロープから立ち下がりスロー

プまたは両スロープに切り替え可能です。 メニュー項目 メニュー項目



メニューの項目、マニュアルで側面メニューパラメータの一つを「選 パラメータ、値の 択」とある場合、最初に対応するメニューキーを押 選択 し VARIABLE ツマミでパラメーター覧をスクロール するか値を増減します。



例 2

例 1

20

1. 希望するメニューキーを押し選択します。丸矢印 が明るく表示されます。

月] 日		月	Ħ
🔁 No	v 20	€	Nov	20

2. VARIABLE ツマミで値を編集します。






1-4-7. ファームウエアの更新方法

概要	本器には、USB メモリからファームウェアをバージョン アップする機能があります。最新のファームウェアはホ ームページよりダウンロードしてください。

- 手順 1. ファームウェアのファイル(*.upg)を USB メモリのル ートフォルダにコピーしてください。
- パネル操作 2. 前面パネルの USB A ポートに USB メモリ を挿入してください。



 Default キーで設定を初期化したの ち、Utility キーを押し、次にファイル 操作キーを押します。



VARIABLE

 USB のファイルパスをファームウェア のファイルに移動し Select キーを 2 回押します。



- インストールは数秒で完了します。完了すると、 再起動のポップアップメッセージが表示されます。 再起動後に Utility キー →システムでバージョンを 確認してください。
- 途中で画面がブラックアウトしたり進捗バーが固まった場合は、十分以上待ってから USB メモリへのアクセスが無いことを確認し、電源を再投入してください。

第2章 クイックリファレンス

この章では、DCS-9700のメニューツリー構造、主要な操作へのショ ートカット、内蔵ヘルプへのアクセス、および工場出荷時のデフォル ト設定について説明します。各機能にすばやくアクセスするための 便利なリファレンスとして使用できます。

2-1. メニューツリー / 操作のショートカット

2-1-1. メニューツリーの表現

メニューツリーの表示は、画面下のメニューキー は、灰色で表示され、画面側面のメニューは白で表 示されています。メニューツリーの操作は、上から下 に順に表示されます。

下記は、トリガソースメニューで実際の画面上の操作と比較するためのメニューツリーの操作例です。



アクイジションモードを設定します。





2-1-3. Acquire キー - セグメントメニュー

セグメントメモリ機能を設定します



2-1-4. Autoset +-

自動的に信号を検出し水平と垂直のスケールを設定します。





2-1-5. CH1~4キー

チャンネルの入力パラメータを設定します。





2-1-6. カーソルキー

カーソルポジションを設定する





2-1-7. Display +-

画面のプロパティを設定する。

Display



ヘルプモードをオン/オフする。





2-1-9. 演算キー

四則演算とFFT 機能





2-1-10. 測定キー

電圧/電流、時間または遅延を個別またはグループで自動測定を表示する。





 Hardcopy
 画面イメージの印刷または波形データ、画面イメー

 ジまたはパネル設定を保存します(割り当てた機能に依存します)。

2-1-12. Run/Stop +-



2-1-13. REF キー





2-1-14. Save/Recall +-

画面イメージ、波形データ、パネル設定の保存と呼び出し。リファレンス 波形のラベル編集とファイル設定をします。

Save/Recall



2-1-15. Test +-

Go-NoGoテストや、他のソフトウェアを使用する。





2-1-16. Test +-- Go-NoGo



*Go-NoGo機能はすべて英語表記となります。

2-1-17. トリガタイプ メニュー



2-1-18. エッジトリガ メニュー



2-1-19. 遅延トリガメニュー



2-1-20. パルストリガメニュー



2-1-21. ビデオトリガメニュー



2-1-22. ラントトリガメニュー









2-1-25. ロジックトリガメニュー







- マニュアルを参照してください。
- 2-1-27. Utility +-



* Demo 1、Demo 2、Demo 3 出力はデモ出力の設定に依存します。



2-1-29. Utility キー – ファイル操作







エッジイベントのサーチ機能を設定



2-1-32. サーチ – パルス

パルス幅イベントのサーチ機能を設定する。



2-1-33. サーチ – ラント

ラントイベントのサーチ機能を設定する。



2-1-34. サーチ – Rise/FallTime

Raise/FallTime イベントのサーチ機能を設定する。



2-1-35. サーチ – ロジック

ロジックイベントのサーチ機能を設定する。



2-1-36. サーチ – バス

バスイベントのサーチ機能を設定する。



2-1-37. Zoom +-

Zoom



2-1-38. Option +-

オプションメニューのファンクションにアクセスする。





*注意:インストールされていないオプションは、淡色表示です。

2-2. Default 設定

初期設定(工場出荷時)は、いつでも Default キー (を押すことで呼出すことが出来ます。

を押すことで呼	出すことが出来ます。	
Acquire	モード:サンプル	XY:オフ
	補間:Sin(x)/x	サンプルレート:2GS/s
	メモリ長 : Auto	
ディスプレイ	モード:ベクトル	パーシスタンス:240ms
	波形輝度:50%	目盛輝度:50%
	波形表示:クレー	目盛:フル 🛄 📖
チャンネル	スケール:100mV/Div	CH1:オン
	結合: DC	インピーンダンス:1MΩ
	反転:オフ	帯域制限:なし
	拡大:グランド	ポジション:0.00V
	プローブ:電圧	プローブ減衰率:1x
	スキュー補正:0s	
カーソル	水平カーソル:オフ	垂直カーソル:オフ
自動測定	ソース:CH1	ゲート:画面
	ディスプレイ:オフ	ハイ-ロー: Auto
	統計:オフ	平均及標準偏差の
		サンプル数:2
水平軸	スケール:10us/Div	ポジション: 0.000s
演算	ソース 1: CH1	演算: +
	ソース 2: CH2	ポジション: 0.00 Div
	Unit/Div: 200mV	演算オフ
テスト	アプリ:Go-NoGo	
トリガ	タイプ:エッジ	ソース:CH1
	結合:DC	ALT:オフ
	除去フィルタ:オフ	ノイズ除去:オフ
	スロープ:正	レベル: 0.00V
	モード:オート	ホールドオフ:10.0ns
Utility	Hardcopy:保存	白黒反転:オフ
	保存内容:画面	ファイル形式 : Bmp
サーチ	サーチ:オフ	
セグメント	セグメント:オフ	

2-3. 内蔵ヘルプ

Help キーは、コンテキストヘルプメニューにアクセスします。 ヘルプメニューは、前面パネルのキー操作方法などに関する情報を 説明しています。 ____

.

. .

パネル操作	 Help キーを押します。画面が ヘルプモードになります。 VARIABLE ツマミを回し、希望するヘルプの目 次へ カーソルを移動します。Select キーを押し選択し た項目のヘルプが表示されます。
例:ディスプレイ キーのヘルプ	#1 11.ドットペダド品 20.パーウスタンズ 3.須敷 2.週巻 16.日常
ホームキー	ホームキーを押すとヘルプのメイ ンページ(目次)へ戻ります。
戻る	戻るキーを押すと前のページへ 戻ります。
ヘルプの解除	Help キーをもう一度押すか EXIT キーでヘルプモードを解除できま す。

第3章 測定

3-1. 基本測定

この章では、入力信号を取り込み、観測するのに必要な基本的な操作 について説明します。より詳細な操作については、第4章を参照してくだ さい。

3-1-1. チャンネルを有効にする

チャンネルを表 示する。	入力チャンネルを有効にする (表示)にはチャンネルキーを押 します。有効になると、チャンネ ルキーが点灯します。さらに対
	応するチャンネルメニューが表示されます。
	各チャネルは、VOLTS / DIV ダイヤルの横に表示
	されるし日:東巴、UH2:育、UH3:ビングとUH4: 緑色に関連付けられています。チャンネルが有効
	になると画面下側に下のように表示されます。
	CH1 CH2 CH3 CH4
	[] 1V 🛛 2 100mV 🕄 100mV 🕼 100mV]
チャンネルを無	チャンネルを無効(非表示)にす CHI → CHI
効にする	るには対応するチャンネルキー
	を再度押します。チャンネルメニ
	ューが非表示の場合にはチャン
	ネルキーを二度押してください。
	(一度目はチャンネルメニューを
	表示)
初期設定	初期設定状態に戻すには Default
	Derault

3-1-2. オートセット

	<i>,</i> ,
概要	 オートセット機能は、自動的に入力信号を最適な表示状態になるようにパネルの設定を構成します。 本器は、自動的に次のパラメータを設定します。 水平時間 垂直感度 トリガソースのチャンネル オートセット機能には、Fit Screen モードと AC Priority モード 2 つの動作があります。 Fit Screen モードは、DC 成分を含んだ信号の全て
	か取過にないてれるようにしより。
	AC priority モードは、DC 成分を除いた波形が取過
ハイル採TF	1. 信亏を本裔に按続します。次に、 Autoset たーを知ります
	3. オートセットの取り消しをするには Undo
	画面下のメニューの「オートセット Autoset 取り消し」を押します。
モードの変更	1. Fit Screen モードと AC Priority モ Mode ードは画面下のボタンで切り替え AC Priority へます。
	2. もう一度 Autoset キーを押すと新 しいモードで表示されます。



3-1-3. Run/Stop

概要	初期設定では、 れています(RU 形を止める(ST 察、解析できま Run/Stopキー する2つの方法	画面の波形(輝緑 IN モード)。信号 OP モード)では、 す。STOP モード を押すかシングル 、があります。	線)は連続で更新さ の取得を停止し波 放形を柔軟に観 になるには、 レトリガモードを使用
	Stop モードの	Stop モードのと	き、Stop アイコンが
	アイコン	画面上に表示さ	れます。
	トリガ状態 アイコン	Stop II Trig'd II	26 Jul 2012 09:19:32 26 Jul 2012 09:19:23
Run/Stop キー による波形の停 止	Run/Stop キー Run/Stop キー; ます。波形更新	を押します。 が赤色に点灯し を停止します。	
	停止を解除する キーをもう一度 Run/Stopキー; 波形更新が再開	には <i>Run/Stop</i> 押します。 が緑色に点灯し 乳します。	

シングルトリガ	Single キーを押しシングルトリ (single)→(single [★])
モードによる波	ガモードにします。Single キー
形の停止	が点灯します。
	シングルトリガモードでは、次の
	トリガを検出するまでプリトリガ
	モードになります。本器は、トリ
	ガを検出し一度波形を更新た後
	は、Single キーを再度押すか、
	Run/Stop キーが押されるまで、
	STOP モードのままになります。
波形操作	波形は、RunとStopどちらのモードでも方法は異
	なりますが移動やスケールは変更できます。詳細に
	ついては、93ページ(水平ポジションとスケール)と
	99 ページ(垂直ポジションとスケール)を参照くださ
	ι

3-1-4. 水平ポジション/スケール

より詳細な構成については93ページを参照ください。

水平ポジション 水平ポジションツマミで波形を左 **⊲** POSITION **▷** の設定 右に移動します。



波形を移動すると画面上のディスプレイバーにディ スプレイに表示されている波形部分と波形上の水 平のマーカ位置を表示します。

ポジション表示 水平ポジションは、画面グリッドの下部のHアイコ



1ns/div~100s/div、1-2-5 ステップ

範囲



垂直スケールの 垂直スケールを変更するには、 ^{VOLTS/DIV}
 選択 ツマミを回します。左(低感度)
 または右(高感度)



3-2. 自動測定

自動測定機能は、電圧/電流、時間と遅延測定の主な項目を測定し更新します。測定は、アナログチャンネルとデジタルチャンネル*の両方を 測定できますがデジタルチャンネルは、時間測定の項目のみに制限されます。

*:デジタルチャンネルの測定にはロジックアナライザオプションが必要です。

3-2-1. 測定項目



電圧/電流測定	Pk-Pk (peak to		正のピークと負のピーク間の 差(=最大 - 最小)
	peak)		())
	最大値		正のピーク
	最小値	_ <u>_</u>	負のピーク
	振幅		波形全体、画面内またはゲート領域にわたって測定された グローバルなハイ値とグロー バルなロー値との差。
	ハイ値	<u>ר</u> לת ב	ゲローバルなハイ値。詳細 は、58ページを参照くださ
	口一値		が。 グローバルなロー値。詳細 は、58ページを参照くださ い。
	平均	t	波形全体、画面内またはゲー ト領域内の算術平均値。
	サイクル 平均	<u>i</u> AVA	波形全体、画面内またはゲート領域内の最初の1サイクル 内のすべてのデータ・サンプ
			ルで計算されます。
	RMS	ÍW	波形全体、画面内またはゲー ト領域内の実効値(PMS)
	<u>ж 75 п</u>	¥-1/0,/0,	
	リイクル	$\mathbb{I}^{\bullet} \forall \cup$	波形主体、回面内またはクー
	RMS		ト領域内の最初の1サイクル
	エリア	ha fan	波形の止の面積を測定し、負
			の面積を減算します。グラウ
			ンドレベルで、正の面積と負
			の面積間の分割されていま
			す。
	サイクル		サイクルエリアは、ゲート領域
	エリア	00	で見つかった最初の1サイク
	÷ ·		ル内の正の面積-自の面積で
			す。

	ROV	ŧ	立上りオーバーシュート
	シュート FOV シュート		立下りオーバーシュート
	RPRE シュート	***	立上りプリシュート
	FPRE シュート	~~~Įŧ	立下りプリシュート
時間測定	周波数	₩ ۲	波形の周波数
	周期	ŢŢ	波形の周期 (=1/Freq)
	立上り時間	<i>I</i> ++	立ち上がり時間は、ローリファ レンス値からハイリファレンス 値に立ち上がる最初のパル スのリーディングエッジが必
	立下り時間	-++-	要です。 立ち下がり時間は、ハイリファ レンス値からローリファレンス 値に立ち下がる最初のパル スのたち下がりエッジが必要 です。
	+幅	ŢŢ	正のパルス幅
	一幅	ŢŢ	負のパルス幅
	デューティ 比	ŢIJ	サイクル全体に対する 信号パルスの比率 =100x(パルス幅/サイクル)
	正パルス 数	1 2 3 m	正のパルス数を測定
	負パルス 数		負のパルス数を測定
	… 立上り エッジ数		正のエッジ数を測定
	立下り エッジ数		負のエッジ数を測定

遅延測定	FRR		時間差
		╶╝└┈┤└	ソース1の最初の立上りエッ
			ジとソース2の最初の立上り
			エッジ
	FRF	≝	時間差、ソース1の最初の立
		J→L _≫ J L	上りエッジとソース2の最初
			の立下りエッジ
	FFR	_ -	時間差、ソース1の最初の立
		┑┖┈҇҇	下りエッジとソース2の最初
			の立上りエッジ
	FFF	_→、	時間差、ソース1の最初の立
			下りエッジとソース2の最初
			の立下りエッジ
	LRR	ᆂ่	時間差、ソース1の最初の立
		,	上りエッジとソース2の最後
			の立上りエッジ
	LRF	≝	時間差、ソース1の最初の立
		┘└┈┤→	上りエッジとソース2の最後
			の立下りエッジ
	LFR	_ 	時間差、ソース1の最初の立
		┘└╤┤└	下りエッジとソース2の最後
			の立上りエッジ
	LFF	_ 	時間差、ソース1の最初の立
		┘└┈┤→	下りエッジとソース2の最後
			の立下りエッジ
	位相	t1 ₩ <u>₩</u> ±2→	確度で計算されている2つの
		+-++-	信号の位相差。
			t1 2000
			$\frac{1}{t2} \times 300^{\circ}$
$\mathbf{\Lambda}$	内蔵のヘル	プで自動	測定の定義についての詳細が
∠>注意	確認できま	4	

確認できます。

3-2-2. 測定項目の追加

測定項目の追加機能は、任意のチャンネルソースで画面下に最大8 個まで自動測定項目を表示できます。

測定項目の追加 1. Measure キーを押します。

2. 画面下の 測定項目追加キーを押し 電圧/電流 3. 画面右の電圧/電流、時間または遅 Pk-Pk 延測定を選択し追加したい項目を 時間



電圧/電流 Pk-Pk、最大値、最小値、振幅、ハイ 値、ロー値、平均、サイクル平均、 RMS、サイクル RMS、エリア、サイ クルエリア、ROV シュート、FOV シ ュート、RPRE シュート、FPRE シュ

周波数、周期、立上り時間、立下り 時間 時間、十幅、一幅、デューティ比、 +パルス数、-パルス数、正エッジ 数、負エッジ数

FRR. FRF. FFR. FFF. LRR. LRF. 遅延 LFR, LFF, 位相

画面下のウインドウに自動測定が表示されます。チ ャンネル番号とチャンネルカラーで測定ソースが表 示されます。

アナログ入力:黄色= CH1、青色= CH2、 ピンク = CH3、緑色 = CH4

1 Min	-3.92V	🚺 Amp l i tude	2.39kV	1 High
(1) Low	-3.76V	12 FRF 296	.9us	12 FFR

ソースを選択 測定項目のチャンネルソースは、測定項目を選択 する前に選択してください。

ます。

選択します。

1. ソースを設定するには、画面右のメ ニューからソース1またはソース2 を押しソースを選択してください。ソ ース2は、遅延測定にのみ適用さ れます。 範囲



CH1~CH4、演算*、D0~D15**

*:演算ソースは、デジタル(D0~D15)入力は含 まれません。 **:ロジックアナライザにのみ適用されます。

3-2-3. 測定項目の削除

個々の測定項目は、「測定項目の削除」を使用することで何時でも消す ことができます。



3-2-4. ゲートモード

いくつかの自動測定では、測定範囲をカーソル間などの"ゲート"エリア 内に限定することができます。ゲート測定は、速いタイムベースを使用 している場合や波形の振幅を測定する場合に便利です。ゲートモード は、オフ(全レコード)、画面、カーソル間の3つの方法が可能です。



カーソルを表示 カーソル間を選択するとカーソルが表 60ページ 示されカーソルメニューで編集できま す。 3-2-5. 全測定項目の表示

測定を消す

全て表示を選択すると電圧/電流と時間測定を表示し更新します。

測定結果を見る 1. Measure キーを押します。 Measure

- 画面下メニューから全て表示を押し ます。
- 画面右メニューから測定ソースを選 択します。

範囲 CH1~CH4、演算、D0~D15* *:ロジックアナライザのオプションが必要です。

ソース

CH1

4. 電圧/電流と時間測定の結果が画面に表示され ます。



遅延測定	遅延測定は、1 チャンネルのみがソースとして使用 されているような測定はこのモードでは使用できま
	せん。代わりに個別の測定モートを使用します。
	(53 ~->)
デジタル	デジタルチャンネルでは、周波数、周期、+幅、-幅と

チャンネル デューティサイクル測定のみサポートしています。

3-2-6. ハイ-ロー機能




初期値に戻す デフォルトを押します。

3-2-7. 統計

概要

統計(Statistics 計を表示します 表示されます。	3)機能は、選択した自動測定から統 。以下の情報は、統計関数を使って
値	現在の測定値
平均	平均値は、自動測定結果の数から
	計算されます。平均値を決定する
	ために使用されるサンプル数は、
	ユーザー定義することができます。
最小値	最小値は、選択された自動測定項
	目の一連の測定結果から算定され
	ます。
最大値	最大値は、選択した自動測定項目
	の一連の測定結果から算定されま
	す。
標準偏差	現在の測定値の平均からの分散を
	返します。標準偏差は分散値の平
	方根になります。標準偏差を測定
	することは、例えば、信号のジッタ
	の程度を決定することができます。
	標準偏差を決定するために使用さ
	れるサンプル数は、ユーザー定義
	することができます。

ハイ-ローの設定 1. Measure キーを押します。



3. 平均及標準偏差を押し平均値と標 平均及標準偏差 準偏差の計算に使用するサンプル \mathbf{O} 数を設定します サンプル 2~1000 数:

4. 画面下のメニューから統計を押し統 計機能をオンします。



Measure

サンプル

5. 統計が、画面下部に表で表示されます。



3-3. カーソル測定

水平または垂直カーソルは、演算波形と波形測定の位置と値を表示す るために使用します。これらの結果は、電圧、時間、周波数、およびそ の他の演算操作をカバーしています。オフにしない限り、カーソルは(水 平、垂直、または両方)が有効な場合、それらは画面に表示されます。 (93ページ)

3-3-1. 水平カーソルを使用する

パネル操作/範 1. Cursor キーを一度押します。

囲
 2. まだ、選択されていない場合、画面
下のメニューから
$$H J - Y / \nu$$
を押し
ます。
 H - Y / μ
リ

 3. H J - Y / ហ ()
 第

 4. H J - Y / ν
 H - Y / μ
マ

 か、または Select キーで選択され
ている
カーソルを切り替えます。
 H - Y / μ
マ

 範囲
 説明
カーソル (0) が移動します。カーソ
ル(2) は固定です。
カーソル (0) が移動します。カーソ
ル(2) がる動します。カーソ
ル(2) がる動します。カーソ
ル(2) がる動します。カーソ
ル(2) がる動します。カーソ
ル(1) は固定です。
カーソル (1) がっ緒に移動します。

 4. カーソル位置の情報が回面
を上に表示されます。
 1.400
ア - 900
の
シーン
シーン
シーン(1) いつ
シーン(1) いう
シーン
シーン(1) いつ
シーン
シーン(2) がっ
シーン(2) かっ
シーン(2) がっ
シーン(2) がっ
シーン(2) がっ
シーン(2) かっ
シーン(2) がっ

井

ル間を100%に設定を押します。



します。

<mark>1</mark> (X)		1	8	Δ		
2 (Y)	t:	-11.4us	0.00s	11.4us		
	x: y:	92.0mV 1.72V	-4.00mV 1.12V	-96.0m -600mV	J	
	г: Ө:	1.72V 86.9°	1.12V 90.2°	607mV -99.0°		
t Ay	х×у:	158mVV	-4.48mVV	57.6m	υ	
比率	y÷x:	18.6V∕V	-280V/V	6.250/	νŪ	
カーソル 2 △	カーソル2 時間、直交、極座標、積、比 カーソル2 時間、直交、極座標、積、比 △ デルタ(カーソル間の差)					
	3		8 (X) Versus 4 (Y)	1 t: -6.25us 6	2 △ .25us 12.5us	
			Rectangular	x: 1.680 -1 y: 368n0 -	1.88V -2.76V 128nV 68.8nV	
			Polar	r: 1.710 1 e: 12.0° 1	1.150 2.760 158° 178°	
			Product	×y: 684mUU -4	453mUU -165mUU	
	"National	Survey of the				
			Ratio	rex: 214nV/V -3	388mU/U -21.7mU/U	

3-3-2. 垂直カーソルを使用する



例



例

ス





3-4. 演算機能

3-4-1. 演算機能について

概要	演算機能は、加算、減算、乗算、除算、FFT または
	入力信号やリファレンス波形(REF1~4)を使用した
	高度な演算を実行し画面上に結果を表示します。演
	算結果の波形特性は、カーソルを使って測定できま
	す。
加算 (+)	2つの信号を加算します。
	ソース CH1~4、Ref1~4
減算 (–)	二つの信号間の振幅を減算します。
	ソース CH1~4, Ref1~4
乗算 (×)	二つの信号を乗算します。
	ソース CH1~4、Ref1~4
除算 (:)	2つの信号の振幅を割り算します。
	ソース CH1~4、Ref1~4
FFT	信号に対して FFT 演算を実行します。
	FFT ウィンドウには次の4種類が用意されていま
	す:ハニング、ハミング、レクタンギュラ(方形)、ブラッ
	クマン。
	ソース CH1~4、Ref1~4、f(x)
d/dt	ソース波形を微分します。
	ソース CH1~4、Ref1~4、f(x)
∫dt	時間に関してソース波形を積分します。
	ソース CH1~4、Ref1~4、f(x)
	平方根の計算を実行します。
	ソース CH1~4、Ref1~4、f(x)
ハニング	周波数分解能 良い

FFT ウインドウ	振幅分解能	良くない
	最適な測定	周期的波形の周波数測定
ハミング	周波数分解能	良い
FFT ウインドウ	振幅分解能	良くない
	最適な測定	周期的波形の周波数測定
レクタンギュラ	周波数分解能	とても良い
(方形)	振幅分解能	悪い
FFT ウインドウ	最適な測定	単発現象 (このモードはウインドウを
		利用しないのと同じです)
ブラックマン	周波数分解能	悪い
FFT ウインドウ	振幅分解能	とても良い
	最適な測定	周期波形の振幅測定

3-4-2. 加算/減算/乗算/除算



演算測定の結果が画面に表示されます。演算波形 の垂直スケールが画面下部に表示されます。





3-4-3. FFT





範囲 ハニング、ハミング、レクタンギュ ラ、ブラックマン

 FFT の結果波形が表示されます。FFT では、水 平スケールが時間から周波数に、垂直スケール が電圧(電流)から dB/RMS(リニア RMS)に変 わります。





	範囲	2mV~1I	kV RMS、1~2	20 dB
ズームと	FFT 波形を	拡大するには	画面右メニュ	ズーム
オフセット	ーのズームの	の倍率 X パラ	メータを選択	5X € 1.327MHz
	L VARIABL	<i>E ツマミ</i> で変	更します。	
	範囲	1X ~ 20	X	
	FFT 波形を	水平方向にオ	フセットする	ズーム
	には、ズーム	を押して周波	b 数単位を選	5X € 1.327MHz
	択し VARIA	BLE ツマミで	変更します。	
FFT をクリアす	FFT 波形をī	画面から消す	にはMathキ	MATH
る	ーをもう一度	[押します。		(M)

3-4-4. 高度な演算 概要 高度な演算機能は、ソース波形の微分、積分や統 計のような高度な数学関数を実行できます。 f(X)ソース機能(FFT 機能で使用されている)は、 アドバンスメニューから設定することができます。 パネル操作 7. Mathキーを押します。 MATH Μ 8. 画面下メニューの拡張演算を押しま 拡張演算 す。 9. 画面右メニューの Operator を選択 Operator します。 d/dt d/dt、ĺdt、√ 範囲 10. 画面右メニューからソースを選択し ソース ます。 CH1 CH1~4, Ref1~4, f(x)* 範囲 *:f(x)のソースは、f(x)編集機能で設定します。 71 ページ 11. 演算結果が画面に表示されます。微分/積分演 算の場合、それに応じて単位/divのスケールが

変わります。

				~	Trig'd	л	10 Dec 2012 19:21:26
							拡張演算
							Operator [dt
		: 					ソース CH1
	ソース	ζ					Edit f(x)
	廿己国家	宝笘					ポジション € =1.96D1v
	加口区	共子					単位/div € 58⊌Vs
M Intg(1)	58uVs m 188aU (8)) 188nv (3)	= 188nV)(28us (F)	0.000s	(E	9.99998kHz 288wV DC
Math	FFT	拡張演算					

ポジションと単位 演算波形を垂直方向に移動するには、 ポジションキーを押し VARIABLE ツマ 😜 =1.9001v 「参回して移動させます。

ポジション

	範囲	−12.00 Div ~ +	12.00	Div
	演算波形の垂	直スケールを選択 ⁻	する	 単位/d
	には、単位/div	を押し VARIABLE	ミツマ	€ 50uVs
	きを回して選択	します。		
高度な演算波形	画面から高度な	よ演算波形をクリア	する	MATH

をクリアする。 には Math キーをもう一度押します。

Μ

3-4-5. F(x)の編集

概要	f(x)のソースは、FFT や高度な数学関数のソース 波形として使用することがでるユーザー定義の数学 関数です。ソース波形(x)は、2 入力波形の加算、 減算、乗算、除算から作成されます。
パネル操作	1. MATHキーを押します。 MATH M
	 画面下のメニューから<u>拡張演算</u>を 押します。
	3. <i>Edit f(x)</i> キーを押し、f(x)波形を編 集します。
	4. 画面右メニューから <i>ソース</i> 1を選択 します。 範囲 CH1~4
	5. Operator キーで演算式を選択しま Operator す。



戻ります。

第4章 構成

4-1. アクイジション

アクイジション処理はアナログ入力信号をサンプリングし、内部処理の ためにデジタルデータに変換します。

4-1-1. アクイジションモードの選択

概要	アクイジション	アクイジションモードは、サンプルの波形を再構成			
	する方法を決	めます。			
	サンプル	デフォルトのアクイジションモードで			
		す。各アクイジションから全てのサ			
		ンプルが使用されます。			
	ピーク	各アクイジション間隔(バケット)で			
		最小値と最大値のペアのみを使用			
		します。このモードは、信号の異常			
		なグリッチを捕捉するのに有効で			
		す。			
	平均	複数回取得したデータを平均化し			
		ます。このモードは、波形を低ノイ			
		ズで表示する場合に便利です。			
		平均数を選択するには、Variable			
		ツマミを使用します。			
		平均回数:2、4、8、16、32、64、			
		128、256			
パネル操作	1. Acquire +	ーを押します。 Acquire			
	0 777				

 アクイジションモードを設定するに は画面下のモードを押します。



サンプル



4-1-2. デジタルフィルタ

デジタルフィルタ機能は、観測したい信号からノイズ 概要 など不要な成分を除去することができます。 フィルタリング機能は、サンプルまたはピーク検出モ ードを使用し、連続してデータ取得中のみ機能しま す。カットオフ周波数レンジとデジタルフィルタのステ ップ分解能は、以下のように、基本となるサンプルレ ートの割合で表されます。 サンプルレートの1%~49%、オフ 範囲 サンプルレートの1% 分解能 1. Acquire キーを押します。 パネル操作 n 2. 画面下の Mode キーを押します。 モード

サンプル



4-1-3. X-Y モードの波形を表示

概要	X-Y モードは、チャネル2の入力とチャンネル1の 入力をX-Y 表示します。チャネル3の入力とチャネ ル4の入力もX-Y 表示することができます。このモ ードでは、波形の位相を観測することができます。 リファレンス波形もX-Y モードに使用できます。 Ref1とRef2、Ref3とRef4がX-Y 表示できます。 リファレンス波形を使用するのは、チャンネル入力 を使用するのと同じです
接続	1. チャンネル 1 (X 軸)と CHI CHI
	(CH1とCH2 または CH3とCH4). 非表示の場合はチャンネルをオンし てください。チャンネルキーが点灯 している場合、チャネルはオンで す。
パネル操作	1. Acquireキーを押します。 Acquire
	2. 画面下メニューの XYを押します。 🛛 🔒 🙀



X-Y モードは、上下 2 画面に分割します。画面上部 分は、全体波形を表示します。

画面下部は、X-Y モードを表示します。



X-Y 波形のポジションを移動するには、垂直ポジションツマミを使用します: チャンネル 1 のツマミは X-Y 波形を水平方向に移動し、チャンネル 2 のツマミは X-Y 波形を垂直方向に移動します。 同様に、X2とY2 軸はチャンネル 3 とチャンネル 4

のポジションツマミで移動できます。



水平ポジションツマミと Time/div ツマミは X-Y モードでも使用できます。

X-Y モードをオフ にする	X-Y モードをオフにするにはオフ(YT) を選択します。	オフ(YT)
XY モード	X-Y モードでカーソル機能が使用でき ます。詳細については、カーソル測定 (60 ページ)を参照ください。	60 ページ

4-1-4. サンプリングモードの設定

概要	本器には、ET	(Equivalent Time:等価時間)と
	Sin(x)/x 補間	の2種類のサンプリングモードがあり
	ます。	
	等価時間サン	プリングは、周期的に繰り返す波形を
	サンプリングし	ったとき、最高 100GS/s のサンプルレ
	ートを達成する	ることができます。
	sin(x)/x 補間	は、サンプリングされたポイント間を連
	続的な信号に	ー a 構築するために sinc 関数補間式
	を使用します	
	Sin(x)/x	。 データの 1 サンプルは 1 波形を再
		構成するために使用 ます 水平時
		開が比較的遅いか、単発現象を取
		は、そののないののありには、300(人)
		ハッシンシンと区市の心安かの
	笙ᄺ時間	りより。 サンプリングレセデータは 複数回
	寺画時间	サンテリングした)一方は、後奴回
	リンノリンク	者惧され「フの波形を丹悟楽しよ
		9。 このナギは、目かはと共、プリング
		この方式は、見かりエリンノリンク
		レートは早くなりまりが、繰り返し信
		ちにのみ使用できより。
		水平時間か、リアルタイムサンノリン
		クには速すさる場合、このモートを
0 L IR //		使用します。
パネル操作	1. Acquire +	ーを押します。 Acquire
	2. 画面下の	ET/sin(x)/xキーを押し

当面下の E1/sin(x)/x モーを押し 等価時間サンプリングと sin(x)/x を
ET sin(x)/x 切り換えます。



4-1-5. レコード長の設定

概要

記録できるサンプル数は、レコード長で設定できま す。

高速サンプリングレートで長時間の波形を記録した り等価時間サンプリングを使用した場合に、高速サ ンプリングレートを達成することができるようにする ためにレコード長はオシロスコープにとって重要で す。本器には、オートとショートの2種類のレコード 長設定があります。* 自動設定は、本器の設定に依存して、利用可能な 最大レコード長にレコード長を設定します。 ショート設定は、1kポイントにレコード長を設定しま す。本器の最大レコード長は、チャネルが有効で、ト リガモードがノーマルまたはシングルショットが使用

されているか、有効なチャネル数によって異なりま す。下表に各トリガモードで使用可能なレコード長を 説明します。

*セグメント機能は、1k ポイントのみです。

				トリガモート	ì
	オン	チャンネル設定	シング	ルノーマル	Auto
	CH1		2M	1M	1M
	CH2		2M	1M	1M
	CH3		2M	1M	1M
	CH4		2M	1M	1M
	<u>CH1,</u>	CH3	2M	1M	1M
	<u>CH1,</u>	CH4	2M	1M	1M
	CH2,	CH3	2M	1M	1M
	<u>CH2,</u>	CH4	2M	1M	1M
	CH1,	CH2	1M	500k	500k
	<u>CH3,</u>	CH4	1M	500k	500k
	<u>CH1,</u>	CH2, CH3	1M	500k	500k
	<u>CH1,</u>	CH2, CH4	1M	500k	500k
	<u>CH2,</u>	CH3, CH4	1M	500k	500k
	<u>CH1,</u>	CH3, CH4	1M	500k	500k
	CH1,	CH2, CH3, CH4	1M	500k	500k
パネル操作	1. Ad	cquire キーを押しま	す。	Ad	quire
	2. 画	面下の <i>レコード長</i> キ	Fーを押し	, [V]	ード長
	Au	uto またはショートモ	ードを選	【択し 🛛 🛛	· — ŀ
	ま	す。			
	レコー	-ド長を変更すると	ナンプリン	ノグレートも	変わり
>注意	ます。				
$\overline{\mathbf{\Lambda}}$	セグン	シト機能を使用した	と場合は	1K ポイント	·/CH、
∠ → 注意	– – <i>1</i>	レモード時は 5K か	ペント/C	日となります	F.

4-2. セグメントメモリ アクイジションの概要

セグメントメモリ機能は、アクイジションメモリのメモリ長を1kポイントに 固定しセグメントに1から最高2048(*)分割して波形を記録することが できます。セグメントの最大数は、チャンネル選択により変わります。セ グメントメモリは、トリガがかかる毎に、1つのセグメントメモリにデータを 取得します。

この機能は、トリガイベントごとに波形データを記録するため、重要なイベントをメモリへ最適に使用することができます。

この機能を使用すれば、信号が非アクティブ状態を無視して、間欠的な 信号イベントを効率的に取得することができます。

例えば、通常オシロスコープは、アクイジションメモリがいっぱいになる

まで信号をキャプチャし次のトリガを待ち、トリガがかかるとまた、信号 をキャプチャします。この場合、キャプチャできないイベントが発生したり、 複数のイベントをキャプチャするために分解能を低くする必要がありま す。

しかし、セグメントメモリ機能は、発生したイベントを効率的に詳細にキャプチャできます。この機能について下図で説明します。 通常のアクイジション例:



上図に示すように、同じアクイジションメモリ上に効率的にキャプチャで きるイベントの数を増やすためにメモリをセグメントに分割します。各セ グメント間のトリガ準備時間が必要ないため、セグメントメモリ機能は特 に高速信号のキャプチャに有効です。正確な信号のタイミングも測定で きるように、各セグメント間の時間も記録されます。 また、セグメントメモリ機能はキャプチャした全てのセグメントの統計計

また、セクメントメモリ機能はキャフチャした全てのセクメントの統計計 算や各セグメントの自動測定をサポートしています。

セグメントメモリ機能は、アナログとデジタル両方のチャネルでサポート されています。 4-2-1. セグメント表示 Run/Stopインジケータ



プログレス インジケータ	Segments 10/10	セグメント設定数に対する キャプチャされたセグメント数
		を表示します。
Run/Stop	🔲 Stop:セク	バメントのデータ取得を完了してい
インジケータ	るか停止	しています。
	📔 Run:セグ	メントメモリの取得が可能です。

4-2-2. セグメントの数を設定します。

▲ 注意	セグメント機能を使用する前に、使用したい信号に 応じて、トリガの設定を行ってください。トリガ設定に ついては、104 ページを参照ください。
パネル操作	1. Acquireキーを押します。 Acquire
	 画面下メニューのセグメントキーを 押します。画面下がセグメントメニュ ーに変わります。
	3. 画面下メニューの <i>セグメントの選択</i> キーを押しセグメント数を設定しま す。

機能	セグメント数		
セグメント数	CH1 or CH2とCH3orCH4時:		
	1~2048		
	その他組み合わせ:1~1024		
最大値に設定	CH1 or CH2とCH3orCH4時:		
	2048		
	その他組み合わせ:1024		
最小値に設定	1に設定		
セグメントのメモリ長は、1K ポイント固定です。			
セグメント数を変	更しても変わりません。		



+20. 27721	
▲ 注意	セグメントメモリ機能を使用する前に、測定したい信号に応じて、トリガの設定をしてください。 トリガ設定を構成するには 104 ページを参照してく
	ださい。
セグメントの実行	1. 画面下メニューを <i>セグメントオン</i> に切り換えま
	9。
	セグメントをオンにすると、トリガがかかるとセグメン
▲→ 汪恴	トメモリは自動的に実行され、各セグメントは自動的
	にキャプチャされます。セグメントのキャプチャ進行
	状況は画面の上部に表示されます。
	2. 本器は、トリガがかかると自動的に Segments データをセグメントメモリへキャプチ 10/10
	ャを開始します。
	セグメントメモリのキャプチャ進行状 📕 🔤
	況は、プログレスインジケータに表
	示されます。
	実行中は、RUN インジケータが表
	示され、セグメントアイコンに実行が
	表示されます。
	セグメントの取得は、1 から設定値
	まで順次増加していきます。



4-2-4. セグメントメモリの移動

概要	セグメントメモリの取得が完了した後、いつでも各セ
	グメントをナビゲートすることができます。
操作	1. 画面下の <i>セグメント選択</i> キーを押し
	ます。このキーは、停止モードのと
	き使用可能です。

- あるいは、最大値に設定または最 小値に設定キーで、それぞれ最初 と最後のセグメントにジャンプするこ とができます。
- 選択したセグメントの時間的な位置 は、最初のセグメントメモリの時間 を基準にしてセグメント時間キーに 表示されます。



4-2-5. 各セグメント間を再生

概要	セグメントメモリの取得が完了した後、Play/Pause
	キーで各セグメント間を再生することができます。
操作	1. セグメント停止の状態であることを確認してくださ
	い。詳細は、82ページを参照ください。
	2. Play/Pause キーを押し取得したセ
	グメントを順番に再生していきます。
	 ● Play/Pause キーをもう一度押すと
	再生を一時停止します。
	● 最後のセグメントまで再生したとき
	Play/Pause キーをもう一度押すと
	順番を逆に再生します。

4-2-6. セグメントの測定

概要	セグメントメモリ	セグメントメモリ機能は、測定メニューの自動測定と			
	組み合わせて低	組み合わせて使用できます。			
	セグメントを用いたデジタルチャネルの測定は、サ				
	ポートしていま	せんのでご注意ください。			
	全表示	全表示機能は、同時に取得した全			

てのセグメントが表示されます。

- セグメント この機能は、セグメント上で統計計 測定 算を実行したり、測定結果の一覧 を表示します。 セグメント 取得したすべてのセグメントのサン 情報 プリングレート、メモリ長などの一般
 - のな情報を表示します。
- 4-2-7. Display All



現在選択されているセグメントは、リファレンスとして一番上に明るく表示されます。

水平時間を変更すると現在の表示しているセグ メント波形のみ変わります。



例

4-2-8.	自動測	定
--------	-----	---

概要	セグメントの自動測定機能は、セグメントごとの自動
	測定や各自動測定の結果を一覧表示することがで
	きます。
	セグメントメモリで自動測定を使用するには、セグメ
▲ 注意	ントを実行する前に Measure メニューから自動測
	定を選択し測定を実行しておく必要があります。
	デジタルチャネルでは、この機能を使用することは
	できません。
設定	Measure キーを押し、測定項目追 Measure
	加メニューから信号のソースを選択
	します。測定項目の追加について
	は 50 ページを参照ください。
操作	1. セグメントメニューからセグメント解
	析キーを押します
	このキーは、セグメントの停止モードで
▲▲注意:	使用できるようになります。
	2. <i>セグメント測定</i> キーを押します。
	セグメント測定
	3 画面右メニューから統 📘 - 🛛 🕞 - 👘
	ずれかを選択します。
	がいる ことに べつの ジャック 統計 リスト
	4. 統計テーブルまたは測定一覧が画面に表示され
•	ます。
	セグメント数ガ多い場合には、統計計算や測定一覧
└・->注意:	により時間がかかるので注意してください。
	5. 統計測定では、プロット ユー PK-PK プロットソーフ
	ソースキーを押し統計計算 「Frequency」
	に使用する自動測定項目
	を選択します。統計は、自
	動測定項目を一度に一項
	目のみ表示できます。
	6. 測定一覧については、ソースキーを Source Source
	押しチャンネルを選択します。
	範囲 CH1~CH4



4-2-9. セグメント情報

操作 1 2 3	 画面下メニューのセグメント解析キーを押します。 注意:このキーは、STOPモードの時のみ有効です。 セグメント情報.キーを押します。 セグメント/情報.キーを押します。 セグメントメモリの一般的な設定情報の表が画
	回に表示されま9。 情報: サンプルレート、レコード長 水平スケール、垂直スケール
	DSO Segmented Info. Samplerate: 500KSPS Record Length: 1000 points Horizontal: 0.000s @ 200us/div Vertical: 1 @ /div

4-3. 画面

画面メニューは、画面上に波形とパラメータを表示する方法を定義します。

4-3-1. 波形をト	、 ットまたはべ	クトルで表示		
概要	波形が画面 で表示され	iに表示された ます。	ととき、ドットま	ミたは ベクトル
パネル操作	1. Display	メニューキー	を押します。	Display
	2. <i>ドット ベ</i> はベクト	<i>クトル</i> キーを打 ルを切り換え	押し、ドットま: ます。	te Fyr Kord
範囲	ドット ベクトル	サンプリンク サンプリンク 線の両方か	グされたドット グされたドット 「表示されま ⁻	・のみを表示 ・とそれを結ぶ す。
例:	ベクトル(方	形波)	ドット(方形	波)

4-3-2. パーシスタンスのレベルを設定する

概要	DCS-9700は、パーシスタンス機能により従来の アナログオシロスコープのようにトレースを表示する ことができます。波形は、指定された時間の間、パ ーシスタンスを実行します。
パネル操作	1. Display キーを押します。 Display
	2. パーシスタンス時間を設定するに パーシスタンス は、画面下のパーシスタンスメニュ 240ms
	 3. 画面右メニューの時間キーを押し VARIABLE ツマミを回しパーシスタ シス時間を選択します。 時間 16ms~10s、Infinite、オフ

パーシスタンスをクリアし再開するには クリア パーシスタンフ パーシスタンスクリアキーを押します。 クリア

4-3-3. 輝度レベルを設定します。

概要	信号の輝度レベルは、デジタル輝度レベルを設定 することでアナログオシロスコープのように設定す			
	ことができます。			
パネル操作	1. Display メニューキーを押します。 Display			

- 2. 画面下の輝度キーを押します。
- 波形輝度 波形の輝度を設定するには、画面 € 波形輝度 右メニューの波形輝度キー押し、輝 度を変更します。 範囲 0~100%
- 4. 目盛の輝度を設定するには、画面 目盛 右メニューの 目盛輝度キーを押し目 盛の輝度を変更します。 範囲 10~100%



輝度

50%

例

波形輝度 0%





- 4-3-4. 波形の階調表示タイプを設定
- 概要 信号の階調表示は、グレースケールまたはカラーに 設定することができます。階調表示をカラーに設定 した場合、輝度階調表示はサーマルカラーのグラデ ーションと類似していて発生頻度の多い領域は赤色 に、頻度の低い領域は青色になります。
- パネル操作 1. Display メニューキーを押します。 Display 2. 画面下の波形キーを押し輝度のタ びひースケール イプを切り換えます。 種類 グレースケール、カラーケール 例:カラースケー

(E) 3.43168MHz

4-3-5. 画面目盛を設定



4-3-6. 波形更新の停止(Run/Stop)

Run/Stop についての詳細は 47 ページを参照ください。

再開します。

パネル操作	1.	Run/Stopキーを押して赤色 に点灯させます。波形の更 新を停止させます。	Run/Stop ~ Run/Stop
	2.	波形とトリガが停止します。 画面上側にあるトリガインジ ケータが Stop 表示になりま す。	Trig'd ∫ ↓ Stop ∫
	3.	波形更新を再開するには、 <i>Run/Stop</i> キーをもう一度押 します。Run/Stopキーが緑 色に再度点灯し波形更新を	

4-3-7. メニューをオフにする

パネル操作	画面右キーの下にある Menu	Menu Off
	Offキーを押して表示しているメ	\bigcirc
	ニューを減らします。メニューキ	\bigcirc
	ーを押すたびにメニュー表示が	~
	一つ減ります。詳細については	
	19 ページを参照ください。	

4-4. 水平ビュー

この章では、水平スケール、ポジションと波形表示モードの方法について説明します。

4-4-1. 波形を水平方向に移動する。

パネル操作 水平ポジションツマミで波形を左右に < ┍оѕпо ト 移動します。

> 波形が移動すると、画面上部のポジションインジケ ータにメモリ内の現在表示されている画面範囲とト リガ位置の水平位置を表示します。



パキホシションを1. パキホシションをりセットするには リセットします キーを押し、画面下メニューの Hポ ジションリセット Os キーを押します。 リセット0s

Run モード Run モードでは、メモリバーはメモリ全体が継続的 に波形を取得し更新するため、メモリ内での相対位 置を保持します。

4-4-2. 水平スケールの選択



範囲 1ns/div~100s/div、1-2-5 ステップ TIME/DIV を変更すると水平時間表示が更新され ます。



Run モード Run モードでは、波形サイズとメモリバーは、その 比率を維持します。水平時間を遅くするとロールモ ードになります。(トリガモードがオートの場合)




4-4-3. 波形更新モードの選択

概要	画面の更新モ	ードは、水平	ヹ時間とトリガ	に従って自
	動的または手	動で切り換れ	わります。	
ノーマル	全表示	全表示波形を一度更新します。水平時間		
	(サン	プリングレー	-ト)が高速の:	場合自動的
	に選択	されます。		
	水平時	間 ≦5	0ms/div	
	トリガ	全モ	<u>:</u> —ド	
ロールモード	Roll 波形に	は、画面の右	「側から左へ」	更新しながら
	移動し	ます。水平	時間(サンプリ	リングレート)
	が低速	しのとき自動	的に選択され	ιます。
	(トリガ	゙モードがオ	ートのとき)	
	水平時	間 ≧10	00ms/div	
	トリガ	全モ	<u>-</u> ド	
			Roll	21 Jul 2809 13:42:51
			ロールモー	- ド
	1			
	0 - 10 2			F 588.88114Hz
ロールモードを	1. トリガメニュ	ーキーを押	します。	Menu
手動で選択する				
	2. 画面下の /	Aode キーを	押し、画面	
	右からオー	トを選択しま	ます。	オート

4-4-4. 水平方向に波形をズーム(拡大)する



96

ズームウィンドウ	水平ポジションツマミを使用しズームウ 🛛 Position 🕨
を移動します。	ィンドウを移動します。
	水平ズームウィンドウの全メモリの水
	平に対する相対位置は、ズームポジシ
	<i>ョン/0に設定</i> に表示されています。
	ズームポジションをリセットするには、 ズーム位置
	ズームポジション/0に設定を押しま 0に設定
	す。
スクロール感度	ズームウィンドウのスクロール感度を ズームボジション
	切り替えるには、ズームポジションキー 微調 粗調
	を押します。
	感度 微調、粗調
ズームと水平ポ	ズームと水平ポジションの両方をリセッズームのリセット&
ジションをリセッ	トするには、ズーム位置リセット Os キ HPOSをOSに
トする	ーを押します。
解除	元の画面表示に戻るには Zoomキー
	をもう一度押します。
4-4-5. Play/Pau	Se

概要	Play/Pause キーは、ズームモードで元信号(画面 上部)をズームウィンドウが移動表示します。
注意	セグメントメモリ機能がオンの場合、 <i>Play/Pauseキ</i> ーは、セグメントの再生をします。詳細は、84ペー ジを参照ください。
パネル操作	1. Zoomキーを押します。 Zoom
	2. Play/Pauseキーを押します。 ►/II
	ズームプレイモードになり、アクイジ
	ションメモリ(元波形)のスクロールを開
	始します。(初期設定では左から右へ 再生します。)
	画面上部に全波形が表示されズーム
	ウィンドウが画面下部に表示されま
	す。

ズーム	ボームウインドウ ボームウインドウ ボームウインドウ ボームウインドウ ボームウインドウ ボームウインドウ ブーム 水平時間 ジョン ジョン ジョン ブーム ボーム ボーム ボーム ア ジョン ジョン ジョン ブーム ア マミを使用します。 画面下部のズーム水平時間(Z)は、そ れに応じて変化します。
	7 50us (1) 0.000s
スクロール スピード	ズームウィンドウのスクロール速度を 変更するには、画面下メニューのズー ムポジションキーで微調/粗調を切り換 えます。 速度 微調、粗調 あるいは、水平ポジションツマミの回す速度でス クロール速度をコントロールします。 ・水平ポジションツマミを回すことでスクロール の速度と方向を決定します。
ズームポジション と水平ポジション をリセットする 一時停止	ズームポジションと水平ポジション両方 をリセットするには、ズームのリセット& HPOS 0sを押します。 Play/Pauseキーを押し、波形の再生 を一時停止するか再開します。

再生方向を反転	メモリの最後まで波形を再生したとき、
する	Play/Pauseキーで再生方向を反転し
	て再生できます。
	再生中に水平ポジションツマミを反対
	方向に回すと再生中でも再生を反転す
	ることができます。
機能の解除	機能を解除するには Zoom キーを押し Zoom
	ます。

4-5. 垂直ビュー(チャンネル)

この章では、垂直スケール、ポジションと結合モードの使用方法について説明します。

4-5-1. 波形のポジションを垂直方向に移動する

パネル操作 1. 波形を上下に移動するには、各チャ POSITION ンネルの垂直ポジションツマミを回 します。

> 2. 波形が移動すると垂直ポジション表示が画面内 に表示されます。

> > Position = 0.00V

垂直位置の表示	1.	<i>チャンネル</i> キーを押します。垂直ポ (CH1)	
しとリセット		ジションが画面下のもポジション生の	٦
		に設定キーに表示されています。 10に設定	
	2.	ポジションを変更するには 0 ポジシ - ^{80.000m0}	ļ
		<i>ョン」</i> ±0 に設定キーを押すか、 <i>垂直</i>	
		<i>ポジション</i> ツマミを回して希望する	
		位置まで移動させます。	
Run/Stop モード	波	形は、RunとStopモードどちらでも垂直に移動さ	

せることができます。

4-5-2. 垂直スケールの選択

パネル操作	垂直スケールを変更するには、 VOLT/DIVツマミを回します。 左(低感度)または右(高感度)	VOLTS/DIV
	画面下側の垂直スケール表示が VOLT/DIV ツマミの設定に従って変更 されます。	1 2V 結合 1 DC AC GI
	範囲 1mV/div~10V/div (1M ステップ	IΩ) 、 1-2-5
Stop モード	Stop モードでも、垂直スケール設定は す。	変更可能で

4-5-3. 結合モードの選択





4-5-4. 入力インピーダンス

概要	本器の入力インピーダンスは、1MΩ 固定です。		
	入力インピーダンスは画面下メニューの	インピーダ	
	<i>ンス</i> に表示されています。		
 入力インピーダ ンス表示	1. Channelキーを押します。	CH1	
ノヘ衣小	2. 画面下のメニューにインピーダンス	インピーダンス	
	が表示されています。(固定)	1MΩ	

4-5-5. 波形を雪	重 直	方向に反転する	
パネル操作	1.	Channel キーを押します。	CH1
	2.	<i>反転</i> キーを押し反転のオン/オフを 切り換えます。	反転 オン オフ

4-5-6. 帯域制限

概要	帯域制限は、入力信号を選択された帯域制限フィル タに入れます。この機能は、高周波ノイズをカットし 波形を明瞭に観測するのに有効です。 使用可能な帯域制限フィルタは、機種の周波数帯域 によって変わります。			
パネル操作	1. Channelキーを押します。 CH1			
	2. 画面下の <i>帯域制限</i> キーを押しま す。 フル			
	3. 画面右のメニューから帯域制限フィルタ*を選択し ます。*本シリーズのモデルの周波数帯域に依存 します。			

範囲	70MHz モデル	:フル,20MHz	
	100MHz モデル	:フル,20MHz	
	200MHz モデル	:フル,20MHz,100M	lHz
	300MHz モデル	:フル,20MHz,100M	IHz,200MHz
例	BWフル	BW 制限 20	OMHz
			-
	/	1m	
	· · · · · <u>-</u> [·		- <u>-</u>

4-5-7. GND/画面中央からの垂直方向への拡大

概要	拡大機能は、垂直スケールを変更したな が信号のグランドレベルから、または画 拡大するかを指定します。画面中央から で、信号が DC バイアスを持っている場 たい部分を画面中央に設定すると簡単 観測できます。グランドから拡大が初期	 場合、信号 面中央から 拡大するの 合、拡大し に拡大して 設定です。
パネル操作	1. Channelキーを押します。	CH1
	2. 画面下の <i>拡大</i> キーを押しグランドと	拡大
	画面中央を切り換えます。	グランド
	範囲 グランド、画面中央	
例	拡大がグランドに設定されているとき、	垂直スケー
	ルを変更すると、信号はグランドレベル	から拡大さ
	れます。グランドレベルは、垂直スケール	ルが変更さ
	れても代わりません。拡大が画面中央に	こ設定されて
	いるとき、垂直スケールを変更すると、係	言号は画面
	中央から拡大されます。グランド位置は	、信号の表

示位置により変化します。



4-5-8. プローブタイプの選択

概要	信	号プローブは、電圧または電流に設定	こできます。
パネル操作	1.	Channelキーを押します。	CH1
	2.	画面下のメニューからプローブを選 択します。	プローブ 電圧 1 X
	3.	画面右のメニューの <i>電圧/電流</i> キーを押し電圧または電流に切り換えま	■ 電圧 電流
		す。 垂直軸スケールの単位が設定に従って変わります。	

4-5-9. プローブ減衰率の選択

概要 信号プローブは、必要に応じてオシロスコープの入 力範囲に DUT の信号レベルを下げるために減衰ス イッチがあります。プローブの減衰比を選択すると、 画面上の垂直スケールは、DUT の真値を反映する ようになります。





4-5-10. スキュー補正の設定

概要	スキュー補正は、オシロスコープとプローブ間の伝 地源なた対応するために使用されます
	微遅延で補正するにの」に使用されます。
パネル操作	1. Channelキーを押します。 CH1
	2. 画面下の <i>プローブ</i> キーを押します。 ^{プローブ} 電圧 1 ×
	3. 画面右の <i>スキュー補正</i> キーを押し スキュー補正
	VARIABLE ツマミでスキュー時間を 🔬 📧
	設定します。あるいは、スキュー時
	間を Os /こ設定に設定します。 Osに設定
	範囲 -50ns~50ns、10ps ステップ

- 必要であればその他のチャンネルも同様に設定してください。
- 4-6. トリガ

トリガー、本器が波形をキャプチャする条件を設定します。 以下のトリガ概要は、アナログチャンネルに適用されます。オプションの ロジックアナライザモジュールを使用したトリガの詳細についてはオプシ ョンのユーザーズマニュアルを参照してください。

4-6-1. トリガタイプの概要

エッジ エッジトリガは、最も単純なトリガタイプです。信号が 振幅しきい値を、正または負のスロープで交差した とき エッジトリガがかかります。 立上りエッジトリガ 立下りエッジトリガ

遅延

遅延トリガは、外部トリガとエッジトリガが連動して動 作します。外部トリガがかかった後に、指定したイベ ント数や時間を待ってトリガをかけます。 この方法は、トリガイベントが長時間一連で発生す る場合に、特定の場所でトリガをかけることができま す。



4-6-2. トリガパラメータの概要

	特に明記しない限り、以下の全てのパラメータは、全 てのトリガタイプに共通です。		
トリガソース	CH1~CH4	チャンネル 1~4 の入力信号	
	EXT	外部トリガ入力信号 EXT TRIG	
	AC ライン	商用電源信号	
	ALT	チャンネルを交互にトリガソースにしま	
		す。	
	EXT	プローブトリガソース。EXT プローブの	
	プローブ	種類を電圧または電流に設定します。	
トリガモード	オート	全くトリガイベントがない場合やトリガイ	
	(非トリガ	ベントに関係なく常に波形が更新され	
	ロール)	ていることを確認するために、内部トリ	
		ガを生成します。	
		特に、遅いタイムベースにしロールモー	
		ドで波形を表示したときにこのモードを 選択します。	
	ノーマル	トリガイベントが発生したときのみ波形	
	Single	ど収待しより。	
	Single	トリルイベントが発生したと single シーロだけ波形を取得し、	
		停止します。Single キーを	
		押すとトリガイベントを待ち	
		ます。	
	DC	 DC 結合	
(エッジ、遅延)	AC	AC 結合:トリガ回路から DC 成分を除	
(· · · · <u>-</u> · <u>-</u> /		去します。	
	HF reject	100kHz 以上を除去します。	
	LF reject	5kHz 未満を除去します。	
	ノイズ除去	ノイズにトリガをかけないための低感度	
		DC 結合	

スロープ		立ち上がりエッジでトリガをかけます
(エッジ、遅延、	\sim	立下りエッジでトリガをかけます
Rise & Fall)	Σ	両エッジ(立ち上がりまたは立ち下がり
		の両エッジ)
		(エッジ、遅延、Rise & Fall トリガタイプ
		のみ)
トリガレベル	レベル	トリガレベルツマミを使用 LEVEL
(エッジ、遅延)		して手動でトリガを調整し
		हर्ग ,
	TTLレベル	TTL 信号にトリガをかけるのに適した
	に設定 1.4V	1.4V にトリガレベルを設定します。
	ECLレベル	ECL 回路にトリガをかけるのに適した
	に設定-1.3V	-1.3V にトリガレベルを設定します。
	50%に設定	波形の振幅(AC 成分)の 50 %
		50%にトリガレベルを設定
ホールドオフ	ホールドオフ	ホールドオフ時間を設定する。
	最小値に	ホールトオフ時間を最小値に設定しま
	設正	
進 <u>進</u> (Dalav)	时间	トリカイヘントと美院のトリカダイミング
(Delay)		间の連延时间を(10NS~10S)に設定し ます
	イベント	より。
		「リカイ・シーを後、天际のトリカティミングキャパフォスイベント数(1~65525)
		を設定します。
	最小値に	時間またはイベント数を最小値にリセッ
	設定	トします。
 条件	パルス幅(10	ns~10s)とトリガ条件を設定します。
(パルス幅)	> よ	り長い = 等しい o
. ,	< よ	り短い ≠ 等しくない
しきい値	パルスの振幅	āしきい値を設定します。
(パルス幅)	しきい値	–XXV~+XXV、ユーザー設定
	TTLレベルに	:設定 1.4V
	ECLレベルに	こ設定 -1.3V
	50%に設定	しきい値を 50%に設定
規格	NTSC	National Television System
		Committee

(ビデオ)	PAL SECAM	Phase Alternate by Line SEquential Couleur A Memoire
極性		正極性(ハイからローのエッジで
(パルス、		トリガをかけます。
ビデオ)		負極性(ローからハイのエッジで
		トリガをかけます)
極性	<u> </u>	正極性 (正ラント)
(ラント)		負極性 (負ラント)
	<u>הוה</u>	両エッジ(正または負ラントのど
	J-6	ちらか)
トリガオン	ビデオ信号のトリガス	ポイントを選択する。
(ビデオ)	フィールド	フィールド 1、フィールド 2
		または全て.
	ライン	NTSC の 1~263
		PAL/SECAMの1~313
しきい値		上限しきい値の設定
(ラント)		下限しきい値の設定
	TTLレベルに設定	1.4V
	ECLレベルに設定	-1.3V
しきい値	<u> / </u> ハイ	ハイしきい値の設定
(Rise & Fall)		ローしきい値の設定.
	TTLレベルに設定	1.4V
	ECLレベルに設定	-1.3V

4-6-3. ホールドオフ時間の設定

概要ホールドオフ機能は、トリガポイント後、再度トリガを 解しするまでの待ち時間を定義します。ホールドオ フ機能は、周期性の波形でトリガをかけることがで きるトリガポイントが複数あるとき安定した表示をす ることができます。ホールドオフは、全トリガタイプで 適用できます。 トリガポイント

パネル操作	1.	Menu キーを押します。	Menu
	2.	ホールドオフ時間を設定するには、 画面下のメニューから <i>ホールドオフ</i> を押します。	ホールドオフ 10.0ns
	3.	画面右のメニューからホールドオフ 時間を設定します。	🕙 10.0ns
		範囲 10ns~10s <i>最小値に設定</i> キーを押すとホール ドオフ時間が最小に設定されま す。	最小値に設定
注意		注意:波形の更新モードがロールモ と ホールドオフ機能は自動的にオフに (95ページ).	ードになる こなります。

4-6-4. トリガモードを設定

概要	トリガモードはノーマルまたはオート(トリガなしのロ ール)に設定できます。トリガモードは、全トリガタイ プに適用されます。(95 ページを参照)
パネル操作	1. トリガメニューを押します。 Menu
	2. 画面下メニューの <i>モード</i> キーでトリ ガモードを変更します。
	3. 画面右のメニューでオートまたは ノーマルを選択します。 範囲 オート、ノーマル

4-6-5. エッジ	トリガを使用する	
パネル操作	1. トリガのメニューキーを押します。 Menu	
	2. 画面下メニューの <i>タイプ</i> を押しま す。	
	 画面右メニューからエッジを選択し ます。画面下にエッジトリガインジ ケータが表示されます。 	



左から:

トリガソース、スロープ、トリガレベル、結合

- 4. *トリガソース*キーでソースを変更し ソース ます。 CH1
- 5. トリガソースのタイプを画面右メニューから選択 します。
 - 範囲 チャンネル 1~4 (ALT オン/オフ切 替)

EXT (外部プローブ 電圧/電流、減 衰率: 1mX~1kX)、ライン

- 画面下メニューの結合を押しトリガの結合またはフィルタを選択します。
- 7. 画面右メニューで結合を選択しま す。
- 範囲 DC、AC 8. 画面右メニューの*除去フィルタ*キー で切り換えます。 オフ HF LF
 - 範囲 HF(除去)、LF(除去)、オフ
 注意 DC 結合の場合、LF は選択できま
 せん。
- 9. 画面右メニューでノイズ除去のオン/ オフを切り換えます。



結合

DC

範囲 オン、オフ

10. 画面下メニューのスロープでスロー プの種類を切り換えます

範囲 立ち上がりエッジ、立ち下がりエッ ジ、両エッジ

11.外部トリガレベルを設定するには画 面下メニューのレベルを選択しま す。 12. 画面右メニューで外部トリガレベル

を設定します。

- 🕙 -1.30V
- 範囲 00.0V~画面の 5div分 -80V~+80V TTL レベルに設定 1.4V ECL レベルに設置 -1.3V 50%に設定
- 4-6-6. 高度な遅延トリガを使用する



4-6-7. パルストリガを使用する



4-6-8. ビデオトリガを使用する



4-6-9. ラントトリガを使用する





4-6-10. Rise & Fall トリガを使用する



- 7. 画面下メニューの*しきい値*を押しま す。
- 画面右メニューのハイしきい値を選 択し、VARIABLE ツマミでしきい値 レベルを設定します。
- 9. 画面右メニューのローしきい値を選 択し、VARIABLE **ツマミ**でしきい値 レベルを設定します。
 - 範囲 ハイ: -XXV~XXV ロー: -XXV~XXV TTLレベルに設定 1.4V ECLレベルに設定-1.3V





4-6-11. Timeout トリガを使用する





4-7. サーチ

サーチ機能は、アナログとデジタル両方の入力チャネル上のイベントを 検索するために使用することができます。サーチすることができるイベ ントは、トリガに使用されるイベントに似ています。トリガ機能のイベント との違いは、トリガではイベントを決定するのにトリガレベルを使用しま すが、サーチ機能では、測定しきい値レベルを使用します。メモリ全体 から、しきい値と交差するポイントを検出します。そのためマーカは、メ モリの先頭からマークされます。そのためトリガポイントとは関係ありま せん。サーチ機能のイベントマーカは、RUN モードでも STOP モードで も検索機能をオンにすると表示されます。ロールモードでは使用できま せん。

▲ 注意:RUN モードでサーチ機能をオンにするとマーカを表示する ため波形更新が約1秒に1回一瞬止まります。

4-7-1. サーチイベントの構成





サーチイベントの エッジ、パルス、ラント、Rise&Fall、ロジック*、バス* 種類 *:オプションのロジックアナライザが必要です。

パネル操作 1. Searchキーを押します。 2. 画面下メニューで*検索*を押します。 画面右メニューで*検索*をオンにしま



す。 3. 画面下メニューのサーチの種類を 押します。画面右メニューを押し、 VARIABLE ツマミでサーチの種類 を選択します。 サーチイベントの種類は、トリガイベ ントの種類と似ています。 トリガ設定の詳細は、トリガの説明

(104ページ)を参照ください。



4-7-2. サーチ設定をトリガヘコピーまたはトリガからコピーする

概要	トリガシステムとサーチ機能は類似した	設定を持っ
	ているため、それらの設定はコピー機能	を使用して
	お互いに交換して使用できます。	
互換性のある	エッジ、パルス、ラント、Rise & Fall Tim	e、ロジッ
設定	ク、バス	
パネル操作	1. 画面下メニューの <i>検索</i> を押します。	検索
		オン
	 2. 選択しているサーチ設定をトリガ設 定にコピーするには、画面右メニュ 	サーチ設定 をトリガ ヘコピー
	ーの <i>サーチ設定をトリガにコピー</i> を 押します。	
	 現在のトリガ設定をサーチ設定に コピーするには、画面右メニューの トリガ設定をサーチへコピーを押し ます。 	トリガ設定 をサーチ ヘコピー
▲ 注意	設定をコピーできないか、またはトリガ されていない場合、トリガの設定からコヒ ができません。そのため特定のオプショ きなくなります。	と定が構成 ニーすること ンが使用で

4-7-3. サーチイベントのナビゲーション

概要 サーチ機能を使用する場合、各イベントは、イベント 設定に応じて検索することができます。

- 操作方法 1. パネル上の Search キーを押しま 118 ページ す。画面下メニューの検索を押し、 画面右メニューで検索をオンにしま す。
 - 2. サーチの種類としきい値が適切に設定されていると設定サーチイベントのマーカが目盛の一番上に白い三角形▽で表示されます。
 - サーチの矢印キーを使用して各サーチイベント間 を移動します。サーチイベントは Stop でも Run でも使用できます。





矢印キーで各イベントのナビゲートをするとき、 現在のイベントが常に画面中央に表示されてい ます。

4-7-4. サーチマーカを保存

概要	サーチイベントは、画面上に保存するこの す。さらに新しいサーチイベントを設定し わせることができます。 サーチイベントのマーカは、最大 200 個 ド長全体にわたって保存されます。	とができま て、重ね合 までレコー
マーカの保存	 1. 画面下メニューの検索を押します。 2. 画面右メニューの<i>全マーカを保存</i>キーを押します。 	検索 オン 全マーカを保存
	 3. サーチイベントのマーカは保存され ると表示が▽から▼に代わります。 	
全マーカの消去	保存した全マーカを消去するには画 面右メニューの <i>全マーカを消去</i> を押 します。	全マーカを消去



*全マーカを消去*キーでクリアされるまで*全マーカを* 保存キーを押すたびに、全てのマーカが保存され、 以前に保存したマーカも保持されます。 4-7-5. シングルサーチイベントの設定/クリア

概要	検	索タイプの設定に基づいて、サーチイベントを検
	索	することに加えて、カスタム検索マーカを
	Se	t/Clear
	÷	ーを使用して作成できます。
サーチイベントを	1.	水平ポジションツマミまたはいくつか 🛛 РОЗПОМ 🕨
設定する		他の方法を使用して、目的のポイン
		トに移動します。
	2.	Set/Clearキーを押します。 Set/Clear
	3.	▼マーカが画面中央に設定され保
		存されます。
		• このマーカは、通常に保存された
		サーチマーカと同じ方法で矢印
		キーで移動することができます。
サーチイベントを		設定したサーチイベントをクリアする
クリアする		には、2つの方法があります。
		目的のイベントマーカのみをクリア
		するには、目的のマーカを矢印キー
		で画面中央に移動させ、Set/Clear
		キーを押します。
		全てのマーカをクリアする。
		マーカを全て消去するには画面下
		メニューの検索を押し、 <i>全マーカを</i>
		<i>消去</i> を押します。
		マーカが画面から消去されます。

4-7-6. Play / Pause

概要	Play/Pauseキーは、サーチ機能がオンのときズー
	ムモードの波形を自動でステップ再生(ポジション移
	動)します。サーチ機能がオフの時は、再生は実行
	しますがステップで再生しません。
パネル操作	1. Searchメニューキーを押します。 Search
	2. 週期なダイノに快楽設定を設定しま 117 ページ
	9 °

- 10. *Play/Pause* メニューキーを押しま す。
- 11. ズームプレイモードになり、アクイジションメモリ 内のスクロールを開始します。

ズームモードの設定により開始位置は変わりま す。メモリの右端の場合は、左へ移動します。メ モリ左端にある場合は、右に移動します。

全メモリ波形が画面上部に表示されズーム部分 は画面下部に表示されています。



ズーム

ズーム領域を広げるには TIME/DIVツ マミを使用します。 画面下部のズーム水平時間(Z)は、そ れに応じて変化します。



ズームポジション

粗調

微調

🛛 50us 🗭 0.000s

スクロール スピード ズームウィンドウのスクロール速度を 変更するには、画面下メニューのズー ムポジションキーで微調/粗調を切り換 えます。

速度 微調、粗調

あるいは、水平ポジションツマミの回す速度でス クロール速度をコントロールします。

水平ポジションツマミを回すことでスクロールの速度と方向を決定します。



ズームポジション	ズームポジションと水平ポジション両方	ズームのリセット&
と水平ポジション	をリセットするには、ズームのリセット&	HPOSを0Sに
をリセットする	H POS 0s を押します。	
一時停止	プレイ/ポーズキーを押し、波形の再生	
	を一時停止するか再開します。	
再生方向を反転	メモリの最後まで波形を再生したとき、	
する	プレイ/ポーズキーで再生方向を反転し	
	て再生できます。	
	再生中に水平ポジションツマミを反対	
	方向に回すと再生中でも再生を反転す	
	ることができます。	
機能の解除	機能を解除するには Zoom キーを押し	Zoom
	ます。	

4-8. システム情報 / 言語 / 日付と時間

この章では、インターフェース、ブザー音、言語、日付と時間、プローブ 補正の方法について説明します。

4-8-1. メニュー言語の設定

パラメータ 以下は、デフォルトで使用可能な言語一覧です。 選択できる言語は、地域によって異なる場合があり ます。

English

- Chinese (traditional)
- Chinese (simplified)
- 日本語

KoreanPolish

- French
- Russian
- SpanishGerman

パネル操作

- 1. Utility キーを押します。
- 画面右メニューを押し、表示された 言語を VARIABLE ツマミで選択し Select キーを押します。
- Utility English
 - リスト* 英語, 中国語(繁)、中国語(簡)、韓 国語、日本語、ポーランド語、フラン ス語、スペイン語、ロシア語、ドイツ 語など

*選択できる言語は、地域により異なる場合が あります。 4-8-2. システム情報を見る



4-8-3. メモリの消去

概要	メモリ消去機能は、内部メモリに保存されている波		
	形、設定とラベル名を全て消去します。		
消去する項目	波形メモリ:Wave1~20		
	設定メモリ : SET1~20		
	リファレンス波形:Ref1~4		
	ラベル: CH1~4、Ref1~4、Set1~20		
パネル操作	1. Utilityキーを押します。	Utility	
	2. 画面下メニューの <i>システム</i> を押しま す。	システム	
	 画面右メニューのメモリ消去を押します。 	メモリ消去	

メモリ消去を確認するために再度メモリ消去キー を押すようにメッセージが表示されます。_____

全ての波形と設定を消去します! Erase Menory キーを再度押すとこの処理を実行します。 他のボタンを押すとこの処理をキャンセルします!

 メモリ消去キーを再度押します。
 内部メモリに保存した内容が全て消 去されました。

メモリ消去

4-8-4. ブザー音のオン/オフ

パネル操作	1.	<i>Utility</i> キーを押します。	Utility
	2.	画面下メニューの <i>システム</i> を押しま す。	システム
	3.	画面右メニューの <i>ブザー</i> を押し ブザー音のオン/オフを切り換えま す。	ブザー オン <mark>オフ</mark>

4-8-5. 日付と時間を設定します。



4-8-6. デモ用信号出力

概要	前面パネル カはプロー トリガ信号 デモンスト として使用 る多機能	レにあるデモ出 -ブ補正出力、 出力または、 レーション用の することができ 出力です。 -ブモ信号出力 、 でデモ信号出力 、 電話 このAL の (することができ) -ブ市
波形の出力	モード	デモ出力
Analog	デモ1	トリガ出力またはパルス信号: バースト周波数:100kHz、 バースト時間:500us (50 パルス) バースト周期:1ms 電圧:約 2V
	デモ2	FM::100kHz~1MHz
	デモ3	プローブ補正出力:1kHz~200kHz、 デューティ比:5%~95%
UART	デモ1	Tx:ボーレート 115200、 データビット 8、ストップビットなし
	デモ2	Rx:ボーレート 115200、 データビット 8、ストップビットなし
	デモ3	プローブ補正出力:1kHz~200kHz、 デューティ比:5%~95%
l ² C	デモ1	SCLK 20kHz
	デモ2	SDA ID=0x52
	デモ3	プローブ補正出力:1kHz~200kHz、 デューティ比:5%~95%
SPI	デモ1	SCLK 50kHz
	デモ2 デモ3	SS MOSI
パネル操作と パラメータ	 1. Utility = 2. 画面下 一を押 	キーを押します。 メニューの <i>デモ信号出力</i> キ します。



第5章 オプションソフトウェアとアプリケーション

5-1.	アプ	ッケ	ーション
------	----	----	------

5-1-1. 概要

概要 APP 機能は、異なるアプリケーションを実行することができます。標準では、Go/No-Go 判定機能が搭載されています。

標準内蔵のアプ Go/No-Go Go/No-Go アプリケーションは、入力 リケーション 信号に対して、しきい値の境界を設定 して使用します。Go/No-Go は、波形 が、ユーザーが指定した最大と最小の 振幅境界(テンプレート)内に収まるか をチェックします。

5-1-2. アプリケーションの実行

概要 APP 機能は、さまざまなアプリケーションを実行す ることができます。 パネル操作 1. Test キーを押します。 Test

2. 画面下メニューの APP.を押します。

APP.

 VARIABLE ツマミで希望するアプリケーションへ 移動します。



5-1-3. アプリケーションの削除

概要	オプションのアプリケーションはアンインストール機
	能で簡単に削除できます。
パネル操作	1. Test キーを押します。 Test
	2. 画面下メニューの APP.を押します。 APP.
	3. VARIABLE ツマミで希望するアプリケーションへ
	移動します。
	Veriable: Notating the UNRINELE Study is pointer, the different applications. Select Proof Select Nation is making the applications. Device On Applications and before the superior the different is although the proof range and performs a production the the displayments in a
	ω ω w No-κα. - 1/1 -
	4. 希望するアプリケーションが反転表
	示になったら画面右メニューのアン インストール
	インストールを押し、削除を開始し x2
	ます。削除の確認のため、もう一度
	押します。
5-1-4. Go-NoGo テストを使用する



		条件に違反したとき波形更新を停止 します。		
		^{停止+ブザ−} 条件に違反したとき波形更新を停止 しブザーを鳴らします。		
		・ 連続 条件違反を無視して波形更新を継 続します。		
		→	,	
		の Go-NoGo 出力に信号を出力しま		
		す。波形更新は継続します。		
	2.	画面下メニューの <i>戻る</i> を押し前の画		
		面に戻ります。	Į	
Go-NoGo の	1.	画面下メニューのソース信号を押し		
ソース信号を設		Go-NoGo 境界のソースを設定しま	J	
定します。		⁹ 。 CH1 ソースを CH1 に設定します。		
		CH2 ソースを CH2 に設定します。		
		_{CH3} ソースを CH3 に設定します。		
		CH4 ソースを CH4 に設定します。	_	
	2.	Go Backを押し前のメニューに戻り ます。		
境界線の許容差	1.	Go-NoGo 境界線の許容差を設定 リファレンス		
を設定します。		するには画面下メニューのリファレ モード	J	
		ンスモートを押します。		
許容差の自動設	2.	ソース波形からオフセットするパー 自動許容差		
定		セントとして境界線の許容差を設定		
		谷差を押し VARIABLE ツマミでハ		
		セノナーシを設定しより。	1	
		設定値は、画面下部に表示されています。	,	
•		オフセット 0.4%~40%(.4%ステップ)		
	3.	境界線を設定するには先にリファレ		
▲ 注意		ンス波形を保存しておく必要があり		
		ます。		

最大と最小ポジ	4. 手動で境界線テンプレートを設定す 最大					
ション	るには、画面下メニューの <i>最大ポジ</i> ポジション					
	<i>ション</i> または <i>最小ポジション</i> を押し、または					
	VARIABLE ツマミで境界線の最大					
	または最小位置を設定します。 ポジション					
	範囲 画面中央から≦±12div、					
	0.04div ステップ					
境界線テンプレ	5. 保存キーを押し最大境界線テンプ					
ートの保存	レート(R1)、最小境界線テンプレー					
	ト(R2)または許容差境界線					
	(R1,R2)を保存します。					
	6. 最大境界線は、リファレンス波形					
	R1 に最小境界線はリファレンス波					
	形 R2に保存されます。					
	画面下メニューの 戻るキーで前の					
	メニューへ戻ります。					
	境界線の最大と最小を設定する前に、リファレンス					
▲ 注意	波形 Ref1 と Ref2 に波形を保存しておく必要があ					
	ります。 <i>自動許容差</i> の場合は、ソース波形からR1、					
	R2を作成するため必要ありません。					
Go-NoGo の開	画面下メニューの <i>実行</i> を押し GoNoGo					
始	判定を開始します。実行ボタンが停止					
	に代わります。 <i>停止</i> を押すとGoNoGo					
	判定を停止し、ボタンが実行に戻りま					
	す。					
	判定の設定が <i>停止</i> または <i>停止+ブザー</i>					
	に設定されていると、判定結果により					
	波形更新と GoNoGo 判定が停止しま					
	す。GoNoGo 判定を再開するには <i>実</i>					
	<i>行</i> を再度押してください。					
判定結果	Go-NoGo 判定中、PASS/FAIL 比が画面下部左側					
	に表示されています。左の数字は違反回数で右の					
	数字は判定回数です。					



5-2. オプションソフトウェア

5-2-1. オプションのソフトウェアを有効にする

概要 DCS-9700 には、標準機能を拡張するオプションの ソフトウェアパッケージがあります。どのオプションソ フトウェアでも、操作を有効にするためには、起動キ ーが要求されます。オプションのソフトウェアパッケ ージごとに異なる起動キーが必要です。

オプションのハ オプションのソフトウェアがオプションのハードウェア ードウェアモジュ モジュールを必要とする場合、オプション組込み方 ールを組み込む 法の詳細については、14ページを参照ください。 オプションのソフ オプションのソフトウェアパッケージをインストールす トウェアモジュー る方法についての詳細は、15ページを参照くださ ルをインストール い。 する。

5-2-2. オプションソフトウェアを実行する

概要	ほとんどのオプションソフトウェア機能は、オプション キーによってアクセスできるようになり、画面下メニ
	ューにボタンが表示されます。
パネル操作	1. 画面枠ベーゼルの右下にあるOptionOption キーを押します。
	2. 画面下メニューから関連オプションを選択しま す。オプションがインストールされていないとボタ ンは薄い灰色です。

		<u></u>	 (rig'd 📠	11 Dec 2012 16:23:57
i kang di kang di	haa haa h	╺┑╵┝╍╕╵┝╍┑╴┾╍╕╵┝	╕┝┑┝	┥┝┑┝	
1					
				F	14.0000kHz
	m 588n0 (8) m	- 18840 (J == 18840 18	8us 📳 8.888		8.88V D
アナライザ	被形在生器			インターフェー	7

オプションのソフトウェア機能を使用する方法については、オプションのユーザーズマニュアルを参照してください。

. .

5-2-3. オプションのソフトウェアを削除する

概安	オブションのソフトウェアパッケージは、メニューから			
	削除することができます。			
パネル操作	1. Utilityキーを押します。 Utility			
	2. 画面下メニューの <i>システム</i> を押しま す。			
	3. 画面右メニューの次へ1 of 2 を押 します。 ^{次へ} 1 of 2 を押			
	4. 画面右メニューの <i>オプションアンイ</i> <i>ンストール</i> を押します。			
	5. 画面右メニューにアンインストールメニューが表示されます。			
	6. 画面右メニューの上/下矢印キーで 削除するオプションソフトウェアを選 択します。			
	7. <i>アンインストール</i> を押しオプションを アン 削除します。 インストール			

第6章 保存/呼び出し

6-1. ファイル形式/Utility

6-1-1. 画像ファイルの形式

 ファイル形式
 DSxxxx.bmp または DSxxxx.png

 内容
 画面イメージは、800×600 ピクセル。背景色は反転

 可能です。(白黒反転)
 各画像ファイルは、ビットマップまたは PNG ファイ

 ルとして現在のファイルパスに保存されます。

6-1-2. 波形ファイルの形式

ファイル形式	DSxxxx.lsf、CH1~CH4.lsf
	LSF ファイル形式は、独自のフォーマットで波形を
	効率的に保存します。このファイル形式は、DCS-
	9700 シリーズで使われるリファレンス波形に使用さ
	れる独自のファイル形式です。
$\mathbf{\Lambda}$	独自フォーマットのため PC などでは読めません。

主意	小 二 一 ノ ノ	

波形の種類	CH1~4	チャンネルの人力信号
	REF	リファレンス波形
	Math	演算結果の波形(66 ページ)
	D0~D15	デジタルチャンネル*
		*:オプションのロジックアナライザのみ
保存場所	Wave1~	波形データのファイルは内部メモリへ保
	Wave20	存されます。保存した波形は、画面で
		表示できるリファレンス波形 Ref1~4
		ヘコピーできます。(W1~W20の波形
		は直接画面に呼出すことは出来ませ
		(\mathcal{L}_{\circ})
	Ref 1~4	リファレンス波形は、W1~W20とは別
		に内部メモリに保存されます。リファレ
		ンス波形(Ref1~4)は、振幅と周波数
		情報と一緒に画面に表示できます。
		Ref1~4は、基準波形や参照波形とし
		て便利です。その他の波形(LSFと
		Wave1~20)を表示するには一度
		Ref1~4 に呼出す必要があります。

内容: 波形データは、波形に用いられる水平および垂直 波形データ データで構成され、詳細な解析に使用できます。

6-1-3. CSV 形式のファイル

DSxxxx.csv(Comma-Separated Values)形式は、 ファイル形式 一般的な表計算ソフトなどで開くことができます。 CSV 形式のファイルは、ショートメモリ形式とロング メモリ形式のどちらでも保存可能です: Detail CSV(詳細データ) Fast Csv(高速 CSV データ) LM Detail(ロングメモリ詳細 CSV データ) LM Fast CSV(ロングメモリ高速 CSV データ) Detail CSV 形式のファイルは、波形の水平と垂直 サンプルポイントの両方を保存します。全てのポイン トは、アナログデータ(実際の垂直スケール値)に変 換されて保存されます。 波形データ数は 10div: 5000 ポイントです。 Fast CSV 形式のファイルは、サンプルポイントの乗 直振幅のみを保存します。 Fast CSV には、水平データポイントを計算可能に する情報(例えばトリガポジション、サンプルレート、 その他)を含みます。Fast CSV の波形データは 10div:5000 ポイントです。データは、整数で保存さ れます。(画面中央を0として上下に±125 ポイント: ±5divです) LM Detail CSV 形式は、CSV 形式に似ていますが 全メモリ長(レコード長の情報については、78ページ を参照ください。)の全ポイントがアナログデータ(実 際の垂直スケール値)で記録されます。 LM Fast CSV 形式は、Fast CSV 形式に似ていま すが全メモリ長のデータを記録します。(レコード長 の情報については、78ページを参照ください。)全ポ イントデータは、整数で記録されます。 内部メモリへ呼出すことが出来るのは、Fast CSV 形式のみです。その他の形式(Detail CSV、LM Fast CSV とLM Detailed CSV)は、内部メモリへ呼 出すことができません。

▲ 注意	LM Detail C 垂直スケール がかかります	SV データは、 ル値に変換する す。	、本体内部で波形データを るため、データ保存に時間
波形の種類	CH1~4 Ref1~4 Math D0~D15 All Displayed	チャンネルの リファレンス波 演算結果の波 デジタルチャン 画面に表示さ 1 ファイルに係	入力信号 皮形 皮形(66 ページ) ンネル Sれている全波形 呆存されます。
内容 : Detail CSV LM Detail CSV	Detail CSV イントの重 ャンネル「のイル」 ・ファイルボ ・ファイルボ ・ラベ重直で ・ がい の 重 重 で スケー ・ ・ ファイルベ ・ ラベ 正 の で の で の の に の の で の の に の の に の の に の の に の の に の の に の の に の の に の の に の の に の の に の の に の の に の の に の の の の に の の の の に の	形式の ア ボスケールで いま が、 て S マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ	 データには、10div:5000 ポ (水平スケール値などのチ ます。 イルに含んでいます: メモリ長 ソースチャンネル プローブ減衰率 垂直スケール 水平ポジション サンプリング時間 時間 垂直データ
内容: Fast CSV LM Fast CSV	Fast CSV # イントのイル形 ・ファイルロー ・トリリ直直ローマー ・水水水で ・ Sinc/ET = ・ スポー ・トリリ直直ロース単ポー ・ スポー ・トリリ直直ロース単ポー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ジェンジェンジェンジェンジェンジェンジェンジェンション シェンシェンシェンション シェンシェンシェンション シェン シェン シェン シェン シェン シェン シェン シェン シェン シェ	 ータには、10div:5000 ポ 報が含まれています: メモリ長 トリガアドレス ソース 垂直ポジション ホ平モード サンプリングレート 水甲間 垂直波形データ

6-1-4. 設定ファイルの形式

ファイル形式	DSxxxx.set (独自仕様フォーマット) 設定ファイルは以下の設定を保存および呼出すことが できます。				
内容	Acquire	・ モード ・ サンプルレート ・ デジタルフィルタ	• XY • サンプルモード • レコード長		
	Display	 モード パーシスタンス 波形輝度 	 目盛輝度 波形 目盛		
	Channel	 スケール チャンネル 結合 インピーダンス 反転 帯域制限 	 拡大 ポジション プローブ プローブ減衰率 スキュー補正 		
	Cursor	水平カーソルH単位	 ● 垂直カーソル ● ∨ 単位 		
	Measure	 ソース ゲート 統計 	表示ハイ-ロー		
	Horizontal	・スケール			
	Math	 ソース 1 Operator ソース 2 	・ポジション ・Unit/Div ・Math オフ		
	Trigger	 タイプ ソース 結合 ALT 除去フィルタ 	 ノイズ除去 スロープ レベル モード ホールドオフ 		
	Utility	 言語 Hardcopy キー ファイル形式 	 白黒反転 ブザー 保存内容 		
	Save/ recall	 ・ ・ ・	 データファイル 形式 		

6-2. ラベルの作成と編集

概要	リファレンスファイル、設定ファイルとアナログ入力
	チャンネル(CH1~CH4)には、個別のラベルを設
	定することができます。アナログチャンネルとリファ
	レンス波形のラベルはチャンネル/リファレンスイン
	ジケータの隣に表示されます。
	波形と設定を保存するか呼出すとき、ラベルはリフ
	ァレンスファイル、設定ファイルまたはチャンネルを
	特定するのにも使用できます。
例	Tiger [1] Unc 2012 16:33-22
	今天も範囲



上記の例では、チャンネル1のラベルは、チャンネ ルインジケータの隣に表示されていて、保存波形メ ニューにも表示されます。Ref_1のラベルは、リファ レンスインジケータの隣に表示されています。



オプションのロジックアナライザを使用するときも、ラ ベルをデジタルチャネルに設定することもできます。 詳細は、オプションのユーザーマニュアルを参照く ださい。デジタルチャネルのラベルは、Save/Recall メニューから編集することはできません。

パネル操作	1.	前面パネルの Save/Recallキーを	Save/Recall
		押します。	
	2.	画面下メニューの <i>ファイル名の編集</i>	ファイル名
		を押します。	の編集
	3.	画面右メニューの <i>ラベル</i> を押し	ラベル
		VARIABLE ツマミで編集したい項	Ref1 (Ref1)
		目を選択します。	
		ラベル CH1~CH4、Ref1~4、	Set1~20

4. プリセットしてあるラベルを選択する



リセットを押し名前を選択します。 ユーザー ACK、AD0、ADDR、ANALOG、 プリセット BIT、CAS、CLK、CLOCK、CLR、 ラベル COUNT、DATA、DTACK、 ENABLE、HALT、INT、IN、IRQ、 LATCH、LOAD、NMI

ラベルの編集 1. 画面右メニューの*文字編集*を押し 現在のラベルを編集します。

文字編集

2. ラベル編集ウインドウが開きます。

_						-		
			$\sim\sim$	~~~~	$\sim\sim$	Trig'd	n	11 Dec 2012 16:49:45
							وعده	
	名: ACK							キーパッド
	ファイル名	ラベル名:	1	ファイル名	ラベル名			stants 7, sta
	CH1:	Channe l 1	(3H2 :				ダチベル
	CH3:		(CH4 :				
	Ref1:	Ref1		Ref2:				
	Ref3:			Ref4:				
	Set1:			iet2:				where the del RA.
1	Set3:			Set4:				一女子們酥
	Set5 :			Set6 :				
	Set7:			Set8:				
	Set9:			Set 18 :				
	Set11:			Set12:			- 9	
	Set13:			Set 14 :				
	Set 15 :			Set 16 :				
	Set 17:			Set 18 :				
	Set 19			Cot 28 ·				
	De ero -							#5.45.95 TZ
								an search 1
2	BCDEFCHLIKLN	NOPORSTUUMX	12					
	ahcdefahiikla	noparstuvezu	17					
	8123456789-		·-					
	Tornorioo _		_					the second sector of
							1	サインセル
							- 6	000.0001
							LE L	999.998kHz
	R1 20mV 500ns)
n	0. 20all @	588ell @	188mU A	TRANU	anna 🗈 a		6 5	a aau nc
<u> </u>		0	0				1	0.000
	R1 オン (R2 オフ	R3 オフ	R4 オフ				
	Pof1							
1	NOTA				l I			

 VARIABLE ツマミでカーソルを移動 させ文字を選択します。



	ラベルの編集をキャンセルして前 のメニューへ戻るには <i>キャンセル</i> を押します。	キャンセル
ラベルを表示す	個々のインジケータの隣に現在選	ラベル表示
る	択されたファイルラベルを表示する	オンオフ
	には画面右メニューの <i>ラベル表示</i>	
	をオンに切り換えます。	
	現在選択されたファイルラベルを消	
	すには画面右メニューの <i>ラベル表</i>	
	<i>示</i> をオフに切り換えてください。	

6-3. 保存

0-3. 床午 6-3-1. ファイルの種類/ソース/保存先					
項目	ソ	ース	保	存先	
パネル設定 (DSxxxx.set)	•	前面パネルの設定	•	内部メモリ: Set1~ Set20 ファイルシステム : 内蔵ディスク Disk、 USB	
波形データ (DSxxxx.csv) (DSxxxx.lsf) (CH1 ~CH4、lsf、 Ref1~Ref4、lsf、 Math.lsf)* ALLxxxx.csv	• • • •	チャンネル 1~4 演算結果の波形 リファレンス波形 Ref1~4 D0~D15 ⁽¹⁾ 表示されている 全波形	•	内部メモリ: リファレンス波形 Ref1 ~4、Wave1~ Wave20 ファイルシステム: 内蔵ディスク Disk、 USB	
画面イメージ (DSxxxx.bmp/png) (Axxx1.bmp/png)** * :ソースで All Displa にフォルダ名 : ALl 波形データは 1 つ	• LX	画面イメージ edを選択すると現在 XXを作成し、全てを Dファイルに保存され	• 選保ま	ファイルシステム: 内蔵ディスク Disk、 USB 択されているディレクトリ 存します。 す。	
**:Hardcopy キーの ディレクトリにフォ	設め	定が全てになってい。 ダ名・ALL XXX を作F	შ₿ ポI	時は現在選択されている 、全てを保存します。	

ディレクトリにフォルダ名:ALLXXX を作成し、全てを保存します。 ⁽¹⁾:デジタルチャンネル:オプションのロジックアナライザが組み込まれ ているときのみ有効です。 6-3-2. 画面イメージの保存

画面イメージは、Save/Recallキーまたは、Hardcopyキーを用いて保存することができます。Hardcopyキーを使用して画面イメージを保存するには、160ページのハードコピーの章を参照してください。





- USB ファイル USB フラッシュドライブの内容(ファイ 操作 ルとフォルダの作成/削除/名前の変 更)の編集やデフォルトのファイルパス を変更するには、画面右メニューからフ ァイル操作を押してください。詳細は 154 ページを見てください。
- 6-3-3. 波形データの保存



5. 画面右メニューの保存先(内部メモ 保存先 リ)またはファイルへを選択して保 Ref1 存先を決めます。 ファイルへ DS0001.LSF 保存先 Ref1~4, Wave1~20 ファイルへ ファイル形式:LSF、Detail CSV、 Fast CSV, LM Detail CSV, LM Fast CSV 6. 画面右メニューの保存を押し、波形 保存 データを保存します。保存が完了す ると画面に次のメッセージが表示さ れます。 波形データを保存 USB:/DS0004.CSV 完了! 保存途中に電源が切れたり、USB 注意 へ保存中に USB を抜くとかした場 合、ファイルは保存されません。 USB のファイル USB フラッシュドライブの内容(ファイ ファイル操作 操作 ルとフォルダの作成/削除/名前の変 更)の編集やデフォルトのファイルパス を変更するには、画面右メニューからフ ァイル操作を押してください。詳細は

154 ページを見てください。

6-3-4. パネル設定を保存する

パネル操作 1. 外部USBフラッシュドライブに 前面 背面 保存するには、ドライブを前面 ++ost または背面のパネル USBホ ストポートに挿入してください。 USBドライブが挿入されてい ない場合、ファイルは自動的 に内部メモリに保存されます。



USBホスト接続(前面または背面)は、同時に使用できません。

背面パネルの USB デバイスポートは、背面パネルの USB ホストポートと同時には使用できません。



6-4. 呼び出し

6-4-1. ファイルの種類/ソース/保存先

項目 ソース 保存先 パネルの初期設 • 工場出荷時の設定 • 現在のパネ 定	ル
パネルの初期設 • 工場出荷時の設定 • 現在のパネ 定	ル
	ル
リファレンス波形 • 内部メモリ:Ref1~4 • 現在のパネ	
パネル設定 • 内部メモリ:S1~S20 • 現在の前面 (DSxxxx.set) • ファイル:内部ディスク、 USB	パネル
波形データ 内部メモリ:Wave 1~ ・リファレンス (DSxxxx.lsf、 Wave20 1~4 DSxxxx.csv**) ・ファイル:内部ディスク、 (CH1~CH4、 外部 USB lsf、Ref1~ Ref4、lsf、 Math.lsf)*	波形

*:ALLXXX ディレクトリから呼出すことはできません。

**: Detail CSV、LM Detail CSV と LM Fast CSV ファイルは、本体に 呼出すことはできません。

パネル操作	1. Defaultキーを押しま	す。 Default
	 画面およびパネルキ 態なります。 	ーの設定が初期設定の状
設定内容	以下は、初期設定(工場	出荷時)の内容です。
Acquire	モード:サンプル	XY:オフ
	サンプルモード:Sin(x)/	x サンプルレート:2GSPS
	デジタルフィルタ:オフ	レコード長:オート
画面	モード:ベクトル	パーシスタンス:16ms
	波形輝度:50%	目盛輝度:50%
	波形:グレースケール	目盛
チャンネル	スケール:100mV/div	CH1:オン
	結合:DC	入力インピーダンス:
		1ΜΩ
	反転:オフ	帯域制限:フル

6-4-2. パネルの初期設定を呼出す

	拡大:グランド	ポジション:0.00V
	プローブ:電圧	プローブ減衰率:1x
	スキュー補正:0s	
カーソル	水平カーソル:オフ	垂直カーソル:オフ
	H 単位:S	V 単位:Base
自動測定	ソース 1: CH1	ソース 2:CH2
	ゲート:オフ	表示∶オフ
	ハイーロー:オート	統計:オフ
	平均および標準偏差:2	
水平	スケール:10µs/div	
Math	ソース 1:CH1	演算:+
	ソース 2:CH2	ポジション:0.00 Div
	単位/Div:200mV	Math:オフ
Test	App:Go-NoGo	
トリガ	タイプ : エッジ	ソース: CH1
	結合: DC	ALT:オフ
	除去フィルタ:オフ	ノイズ除去:オフ
	スロープ:立ち上がり	レベル:0.00V
	モード:オート	ホールドオフ:10.0ns
Utility	言語:日本語	Hardcopy キー:保存
	白黒反転:オフ	ファイル形式:BMP
	割り当てる保存へ:画面	ブザー:オフ
Save / Recall	ファイル形式:Bmp	波形データ形式:LSF
サーチ	サーチ:オフ	
セグメント	セグメント:オフ	

6-4-3. 波形の呼び出し



	7. <i>呼出し実行</i> を押し波形を呼び出しま す。	保存
USB のファイル 操作	USB フラッシュドライブの内容(ファイ ルとフォルダの作成/削除/名前の変	ファイル操作
	更)の編集やデフォルトのファイルパス を変更するには、画面右メニューからフ ァイル操作を押してください。詳細は、 154 ページを見てください。	

6-4-4. パネル設定の呼出し

パネル操作	1.	外部USBフラッシュドライブ	前面	背面
		から呼出すには、ドライブを	~~	Host
		前面または背面のパネル USB ホストポートに挿入して ください。		



USB ホスト接続(前面または背面)は、同時に使用 できません。

背面パネルの USB デバイスポートは、背面パネルの USB ホストポートと同時には使用できません。

- 2. Save/Recallキーを押します。
- 3. 画面下メニューの*設定呼出し*を押します。
- ソース(内部メモリ)またはファイル からを押し、呼び出し先を選択しま す。



ソース Set1~20

ファイルから DSxxxx.set (USB, Disk)*

* 現在選択されているファイルパスのみが有効 です。変更する場合は、ファイル操作で変更し て下さい。

5. *呼び出し実行*を押し、設定ファイル を呼び出します。設定ファイルの呼 出しが完了すると次のメッセージが 表示されます。

保存





呼び出し中に電源が切れたり、USB から呼出中に USB を抜くとかした場 合、呼び出しが実行されません。

USB のファイル	USB フラッシュドライブの内容(ファイ	
操作	ルとフォルダの作成/削除/名前の変	ファイル操作
	更)の編集やデフォルトのファイルパス	
	を変更するには、画面右メニューからフ	
	ァイル操作を押してください。詳細は	
	154 ページを見てください。	
ラベルの編集	設定ファイルのラベルを編集するに	
	は、ラベル編集を押します。ラベル編	ラベル編集
	集の詳細については、141 ページを参	
	照ください。	

- 6-5. リファレンス波形
- 6-5-1. リファレンス波形の呼出と表示
- パネル操作 リファレンス波形は、前もって保存されている必要が あります。リファレンス波形とし波形を保存する方法 は、145ページを参照ください。
 - 1. 前面パネルの REFキーを押してく ださい。
 - 画面下メニューの R1~R4を押し てリファレンス波形のオン/オフを切り換えてください。
 R1~R4をオンにすると画面右にリファレンス波形のメニューが表示されます。
 - リファレンス波形をオンしたのに表示されない場合、画面下メニューから対応するR1~R4キーを押すことでリファレンスメニューを表示することができます。



R1 オン ACK





第7章 ファイル操作

ファイルを内蔵メモリまたは外部メモリに保存する必要なたびに、ファイル操作を使用します。ファイル操作は、ディレクトリの作成、ディレクトリの削除、ファイル名前の変更や内部メモリから外部 USB ディスクへファイルをコピーすることができます。BMP と PNG 画像ファイルは、ファイルシ操作画面でプレビューすることができます。

ファイル操作メニューは、Save/Recall メニューからファイルの保存や呼出しを実行するためのファイルパスを選択・変更することもできます。

7-1. ファイル ナビゲーション

ファイル操作メニューは、保存/呼出しのためのファイルの選択またはフ ァイルパスの設定が可能です。

ファイルシステム ファイルパス ドライブの空きスペース



3. 画面がファイル操作の画面になりま



 VARIABLE ツマミを回しファイルカ ーソルを上下に移動させます。イメ ージファイルは自動的にプレビュー が動作します。Select キーでファイ ルやディレクトリの選択やファイルパ スを設定します。



VARIABLE



 ・USB フラッシュドライブを使用する場合、フ ァイルパスは、USB フラッシュドライブが使用 されるたびに記憶されます。この機能は、 USB のファイルパスを USB フラッシュドライ ブが本器に挿入されるたびに設定をする手 間を節約できます。 7-2. フォルダの作成



7-3. ファイル名を変更する。



7-4. ファイルの削除



7-5. USB ヘファイルをコピーする





USB ホスト接続(前面または背面)は、同時に使用 できません。背面パネルの USB デバイスポート は、背面パネルの USB ホストポートと同時には使 用できません。

- パネル操作
- 2. Utility キーを押します。
- 3. 画面下メニューのファイル操作を 押します。



4. VARIABLE ツマミと Select キーで内部メモリに あるコピー元へ移動します。





す。

同じ名前のファイルがすでに USB ドライブに存在 する場合、上書きされますので十分にご注意ください。

第8章 ハードコピーキー

ハードコピーキーは、クイックセーブまたはクイック印刷キーとして使で きます。ハードコピーキーは、画面印刷またはファイル保存に割り当て ることができます。"印刷"に設定されたとき、USB デバイスポートを経由 で画面イメージを PictBridge 対応プリンタ*に印刷することができます。 印刷には画面の背景色を反転する機能(白黒反転)がありインクの量を 減らすことができます。"保存"に設定されたとき、ハードコピーキーを押 すと構成に応じて画面イメージ、波形データ、現在のパネル設定または それらすべてを保存することができます。

*:全ての PictBridge 対応プリンタに印刷できるわけではありません。 8-1. プリンタ I/O の設定

パネル操作 1. PictBridge 対応プリンタ*を背面パネルの USB デバイスポートに接続します。





USBホスト接続(前面または背面)は、同時に使用できません。

背面パネルの USB デバイスポートは、背面パネルの USB ホストポートと同時には使用できません。

- 2. Utility キーを押します。
- 3. 画面下メニューの*インターフェース* を押します。



- 画面右メニューの USB デバイスを 押します。次のメニューでプリンタを 選択します。
- 画面右メニューを消すには Menu off キーを押すかその他のキーを押 します。
- 再度、Utilityキーを押し、画面下
 メニューのインターフェースを押します。画面右メニューの USB デバイ
 スがプリンタになっています。



8-2. 印刷の実行

印刷を実行する前に、USB ポートがプリンタに設定されていることを確認してください。(221 ページ)



8-3. 保存 – Hardcopy キー

概要	Hardcopyキーが「保存」になっているとき Hardcopyキーを押すと設定された構成に	、 二従って、
	画面イメージ、波形または現在のパネル語 存します。	设定を保
	保存先は 、 <i>ファイル操作</i> で設定します。	
パネル操作	 外部USBフラッシュドライブ 前面 に保存するには、ドライブを 前面または背面のパネル USBホストポートに挿入して ください。USBドライブが挿 入されていない場合、ファイ ルは自動的に内部メモリに 	背面 Host
	保存されます。	

▲ 注意	USB ホスト接続(前面または背面)は、同時に使用 できません。 背面パネルの USB デバイスポートは、背面パネル の USB ホストポートと同時には使用できません。 2. Utility キーを押します。
	3. 画面下メニューのハードコピーを押 ハードコピー
	します。 4. 画面右メニューの <i>機能</i> を押し保存を 選択します。
	5. <i>割り当てる保存へ</i> を押し Hardcopy キーを押したときの保存するファイ ルの種類を選択します。
	ファイルの 画面、波形、設定、すべて 種類
	6. Hardcopyキーを押しファイル*を保 Hardcopy 存します。保存が完了すると次のメ の ッセージが表示されます。
	イメージファイルを保存 USB:/DS0011.BMP 完了!
画面イメージの ファイル形式	1. 画面イメージのファイル形式は、 ファイル形式キーで選択することが 出来ます
	山末より。 ファイル形式 BMP、PNG
白黒反転	2. イメージファイルの背景色を白色に したい場合、 <i>白黒反転</i> をオンにしま オン オフ
	う。 白黒反転オン 白黒反転 オフ



* Hardcopyキーが、波形、設定または全てを保存 するに設定されているとき、Hardcopyキーを押す たびに、新しいフォルダに保存されます。保存するフ ォルダ名は、ALLXXX になります。ALLXXX の XXX は、数値で保存するごとに数値が増加します。 このフォルダは、内部メモリ、USBフラッシュドライブ どちらにも作成されます。

第9章 リモートコントロール

この章は、リモートコントロールのために基本構成を説明します。 コマンドについてはプログラミングマニュアルを参照してください。

9-1. USB インターフェースの構成

USB の構成	PC 側コネクタ	Type A、ホスト			
	DCS-9700 側	Type B、デバイス			
	コネクタ				
	スピード	USB1.1/2.0 USB-CDC			
	USB Class				
	OS	Windows7(32bit/64bit)	以上		
	USB Driver	TEXIO_CDC.inf			
パネル操作	1. Utilityキーる	を押します。	Utility		
	2. 画面下メニ: を押します。	ューの <i>インターフェース</i>	インターフェース		
	3. 画面右メニ:	ューの USB <i>デバイス</i> を	USBデバイス		
	押し <i>コンピ</i>	ューダを選択します。	ポート ■ コンピュータ		
	4. 背面パネル	の USB デバイスポート _ブッち接続します			
	× 0367-	ーノルを按照しより。			
	5. PCがUSB	ドライバを要求してきた	ときは、添付		
	CDにあるし	JSBドライバを指定しま	す。USBドラ		
	イバは、自動的にシリアル COM ポートとして				
	DCS-9700	を設定します。認識され	ない場合		
	は、デバイス	スマネージャの"その他の	Dデバイス"		
	にある DCS	S-97xx を右クリックし、ド	ライバの更		
	新で USBト	ライバを指定します。			
	また、PCへ	の USB ドライバのイン	ストールには		
	管理者権限	が必要です。			

9-2. RS-232C インターフェースの構成

RS-232C 構成	コネクタ	DB-9、オス
	ボーレート	2400、4800、9600、19200、
		38400、57600、115200
	パリティ	なし、Odd、Even
	データビット	8 (固定)



9-3. イーサーネットインターフェースの構成				
イーサーネット	MAC アドレス	ドメイン名		
構成	機器名	DNS IP アドレス		
	ユーザーパスワード	ゲートウェイ IP フ	アドレス	
	機器 IP アドレス	サブネットマスク		
		HTTP Port 80 (固定)	
	イーサーネットを実行	する前にオプション	ノ(DS2-	
∠ ▲注意	LAN)が組み込まれている必要があります。			
	詳細については、14・	ページを参照してく	ください。	
概要	イーサーネットインター	-フェースは、Web) サーバを	
	使用してネットワーク	経由でオシロスコ-	ープのリモー	
	ト構成またはソケット	ナーバ接続を使用	して、リモー	
	トコントロールに使用	できます。		
パネル操作	1. イーサーネットケー	-ブルを DS2-		
	LAN モジュールの	・LAN ポートに接		
	続します。			
	2. Utilityキーを押しる	ます。	Utility	
	3. 画面下メニューの	インターフェース	インターフェース	
	を押します。			
	4. 画面右メニューの 選択します。	イーサーネットを	イーサーネット	
	5 画面右メニューの			
	でオンまたはオフィ	を選択します。	DHCP/BOOTP On Off	
	IP アドレスは、DHCP	/ BOOTP をオン	に設定する	
∠>注意	と自動的にて割り当て	こられます。静的 IF	ヮ アドレスで	

と自動的にて割り当てられます。静的 IP アドレスで は、DHCP/ BOOTP をオフに設定する必要があり ます。


9-4. ソケットサーバの構成

DCS-9700 は、LAN 経由でクライアント PC やデバイスと直接双方向 通信するためのソケットサーバ機能をサポートしています。

初期設定は、ソケットサーバは、オフになっています。



9-5. GP-IB の構成

♪ 注意	GP-IBを使用するには、オプションモジュールの DS2-GPIBを組み込んでおく必要があります。
	組み込み方法の詳細については、14ページを参照
	してください。
接続	1. GP-IB ケーブルを背面パネルの GP-IB モジュ
	ールとPC を接続します。
GP-IB の構成	2. Utilityキーを押します。 Utility
	3. 画面下メニューのインターフェース
	を押します。

- 4. 画面右メニューの GPIB アドレスを 押し VARIABLE ツマミを回し設定し ます。この機能は、オプションの GP-IB モジュールが組み込まれて いるときのみ有効です。 範囲 1~30
- GP-IB の制約 ・ デバイス数は最大 15 台まで、合計のケーブル 長は 20m 以下、各デバイス間は 2m 以下。
 - 各デバイスに個別アドレスを割り当てる必要があります。
 - 少なくとも 2/3 のデバイスが有効である必要があります。
 - ループ接続、並列接続は禁止。
- 9-6. USB/RS-232C 機能チェック

ターミナルアプリ RealTerm,PuTTY などのシリアルターミナルソフト ケーション を起動します。

(USB/RS-232C) COM ポート番号、ボーレート、データビット、パリテ ィ、ストップビットを設定します。

COM ポート番号と関連するポートの設定を確認するには、PC のデバイスマネージャを確認してください。Windows の場合:

*スタート→コントロールパネル → システム→ ハー ドウェア→システム*を開きます。

例:RS-232C 通信で RealTerm を使用する場合の 設定



機能チェック	ターミナルソフトを経由して次のクエリコマンドを送 信します。 *idn?
	このクエリコマンドに対する機器の応答は、次のよう
	製造者、型式、シリアル番号とファームウェアバージョンの順
<u>♪</u> 注意	リモートコントロールとリモートコマンドの詳細は、プログラミングマニュアルを参照ください。

9-7. ソケットサーバの機能チェック

NI Measurement and Automation Explorer	ソケット・サーバーの機能をテストするには、ナショー ルインスツルメンツ社製の Measurement and Automation Explorer を使用します、このプログラ ムは、NIのウェブサイト(www.ni.com)で入手可能 です。	ナ !
操作	1. NIの <i>Measurement</i> & Automation Explorer(MAX)のプログラムを起動 します。	
	ni.com	
	NATIONAL INSTRUMENTS Measurement & Automation Explorer	
	Version 4.6.2 Initializing	
	Copyright ©1999-2009 National Instruments, All rights reserved.	
	 Configuration パネルからアクセスします。 My System → Devices and Interfaces → Network Devices 	

 Add New Network Device → Visa TCP/IP Resource...を押します。 ポップアップウインドウから <u>Auto-detect of LAN</u> Instrument を選択します。DCS-9700 は自動的 に検出されます。DCS-9700 が検出されない場 合、マニュアルオプションを選択してください。



5. DCS-9700 に相当する IP アドレスを選択しま す。次に Nextをクリックします。



6. DCS-9700 が Configuration Panel の Net work Device として表示されます。

7. DCS-9700 にリモートコマンドを送信するために Open Visa Test Panel をクリックします。

e Edit Yew Tools Help	~~~~	
onfiguration	Copen VISA Test Panel Save PRevent	📌 Hide Help
nd Interfaces rk Devices 5-20744 TICE/POI:172.16.22.14 (stem (Lindentified)	TCPP0:172.16.22.149.ins0.INSTR Device Type: TCP/IP/V011 Instrument	Back S Real Real Real Real Real Real Real Real
s Paraes	VISA Alias on My System:	daxica View and add: accounties for my device daxies daxes
	Device Statu This static device is working properly. Troubleshoot.	Ciscard sending thannas Parmore a TCP/IP resource
	Device Usage	
		Device enabled Une this box to enable or disable a device in your system menually.
	Rement A TCP/IP Settings 12 Web Page	

- 8. viWrite タブをクリックします。Buffer エリアにクエ リコマンド「*IDN?」が既にセットされています。
- 9. クエリを実行するために Execute をクリックします。



- 10. viRead タブをクリックします。
- 11.「*IDN?」クエリからの応答を読み込むために Executeをクリックします。
- 12. 製造者、モデル名、シリアル番号、ファームウェ アバージョンが Buffer エリアに表示されます:
 例

TEXIO, DCS-9700, 930116, V1.00



す。

9-8. GP-IB の機能チェック

	GP-IB 接続が正しく動作しているかチェックするために ナショナルインスツルメンツ社製の Measurement & Automation Explorer (MAX) を使用します。 次の機能チェックの方法についてはバージョン 4.6.2 に基づいて説明しています。 ナショナルインスツルメンツ社および Measurement & Automation Explorer (MAX)の詳細については、NI 社のウェブサイト www.ni.com をご覧ください。
操作	1. NI Measurement and Automation Explorer (MAX)のプログラムを起動しま す。Windows の場合、Measurement & Automation アイコンを押します。
	NATIONAL INSTRUMENTS Measurement & Automation Explorer Version 4.6.2
	Copyright @1999-2009 National Instruments. All rights reserved.

- Configuration パネルからアクセスします。 マイシステム→デバイスとインターフェース →GPIB0
- 3. Scan for Instruments ボタンを押します。
- onnected Instruments パネルに DCS-9700 が設 定された Instrument 0と同じアドレスで Instrument 0として認識されています。
- 5. Instrument 0 アイコンをダブルクリックします。



- 6. Communicate with Instrument.をクリックします。
- NI-488.2の Communicator ウインドウを開きます。送信テキストボックスに*IND?が入力されていることを確認します。 Queryボタンを押しクエリコマンド*IDN?を機器へ送信します。
- 8. 受信テキストボックスにクエリの応答が表示されます:

TEXIO, DCS-97XXXX,XXXXXX,V1.XX (製造者、モデル名、シリアル番号、バーション)



9. 機能チェックが完了しました。

9-9. web サーバの概要

· ·		
概要	 DCS-9700 は、web サーバ機能を内蔵しています。 システム情報を表示します。(Welcome ページ) セットワーク構成の設定/確認 (Network Configuration) 機器の現在画面表示(Get Display Image) 	
システム情報	 製造者 シリアル番号 ファームウェア番号 ホスト名 ドメイン名 	 IP アドレス サブネットマスク DNS MAC アドレス DHCP 状態
ネットワークの 構成	 ホスト名 ドメイン名 IP アドレス サブネットマスク 	 ゲートウェイ DNS DHCP 情報
画面イメージの 取得	• 現在の画面イメージ	
パネル操作	 イーサーネットインターる。 PC にあるウェブブラー DCS-9700 の IP アド 例:http://172.16.20. ウェブブラウザに DC ジが表示されます。 	ーフェースの構成を設定す ウザのアドレスバーに シスを入力します。 255 S-9700 の Welcome ペー

第10章 メンテナンス

メンテナンス操作には、3つの機能が用意されています。

- ・信号バス補正(Signal Path Compensation: SPC)
- ・垂直確度の校正
- ・プローブ補正

新しい環境で DCS-9700 の使用を開始するとき、これらの操作を実行 してください。

10-1. SPC 機能の使用方法

概要	信号バス補正(Signal Path Compensa は、周囲温度による内部の信号経路を めに使用します。SPC は、周囲温度に ロスコープの精度を最適化することがで	tion:SPC) 甫正するた 対するオシ きる。
パネル操作	1. Utilityキーを押します。	Utility
	2. 画面下メニューの <i>システム</i> を押しま す。	システム
	3. 画面右メニューの <i>信号バス補正を</i> 押します。画面に SPC についての	信号パス補正
	簡単な説明ウインドウが表示されまう す。	
▲ 注意	SPC 校正を実施する前にすべてのチャン (CH1~CH4)のプローブやケーブルを い。SPC 機能を使用する前に DCS-970 とも 30 分間ウォームアップをしておく必要	ンネル トしてくださ)0を少なく 要がありま

- す。
- 画面右メニューの*開始*を押します。
 画面にメッセージが表示されます。

開始

5. SPC 校正が 1 チャンネルずつ CH1 から順に CH4 実施されます。 10-2. 垂直確度の校正





8. CAL とチャンネル 1 と接続したら 垂 *直*をもう一度*垂直*を押してください。

垂直

チャンネル1の校正を開始し少なくとも5分位 実行し自動的に終了します。 チャンネル1の校正が終了するとメッセージが 表示されます。

- 9. メッセージプロンプトが表示され、メッセージに従 って上記の手順をチャンネル2、3、4と繰り返し ます。
- 10. 全チャンネルの校正が完了すると元の画面に戻 ります。

10-3. プローブ補正

- パネル操作 1. 前面パネルのチャンネル1入力とデモ3出力 (プローブ補正出力:初期設定は、電圧2Vp-p、 1kHz方形波)間にプローブを接続します。プロ ーブ減衰をx10に設定します。
 - プローブ補正信号を変更することができます。詳細については、127ページを参照してください。





第11章 付録

11-1. DCS-9700 シリーズ仕様

以下の仕様は、特に指定がない限り+20℃~+30℃の下で、少なくとも 30分間エージングされた状態に適用されます。

11-1-1. モデル別仕様

チャンネル数	周波数帯域	帯域制限
4	DC~ 70MHz (-3dB)	20MHz
4	DC~100MHz (-3dB)	20MHz
4	DC~200MHz (-3dB)	20MHz,100MHz
4	DC~300MHz (-3dB)	20MHz,100MHz,200MHz
2	DC~ 70MHz (-3dB)	20MHz
2	DC~100MHz (-3dB)	20MHz
2	DC~200MHz (-3dB)	20MHz,100MHz
2	DC~300MHz (-3dB)	20MHz,100MHz,200MHz
	チャンネル数 4 4 4 2 2 2 2 2 2	チャンネル数周波数帯域4DC~70MHz (-3dB)4DC~200MHz (-3dB)4DC~200MHz (-3dB)4DC~300MHz (-3dB)2DC~70MHz (-3dB)2DC~100MHz (-3dB)2DC~200MHz (-3dB)2DC~200MHz (-3dB)2DC~200MHz (-3dB)2DC~300MHz (-3dB)

2 チャンネルの機種は CH3 及び CH4 の項目については無効です。

11-1-2. 共通仕様

垂直軸		
	分解能	8ビット @1MΩ: 1mV* ~10V
		*:垂直スケールが 1mV/div に設定されている場合、
		自動的に 20MHz 帯域制限が設定されます。
	入力結合	AC、DC、GND
	入力インピーダンス	1MΩ// 16pF
	DC ゲイン確度*	±5%フルスケール 1mV/div 時
		±3%フルスケール 2mV/div 以上
	極性	ノーマル、反転
	最大入力電圧	300V rms、CAT I
	オフセット	1mV/div ~ 20mV/div :±0.5V
	ポジションレンジ	50mV/div ~ 200mV/div :±5V
		$500 \text{mV/div} \sim 2 \text{V/div} : \pm 25 \text{V}$
		5V/div ~ 10V/div :±250V
	波形の演算機能	+、−、×、÷、FFT、FFTrms、d/dt、∫dt、√
		FFT:スペクトラム振幅、FFT の垂直スケールを
		リニア RMS または dBV RMS に設定。
		FFT ウインドウをレクタンギュラ(方形)、ハミング、
		ハニング、ブラックマンに設定可能

トリガ			
	ソース	CH1、CH2、CH3、CH4、Line、EXT、D0-D15** **∶オプション DS2-**LA 組込み時	
	トリガモード	オート(100ms/div 以下でロールモードをサポート) ノーマル、シングル	
	トリガタイプ	エッジ、パルス、ビデオ、ラント、Rise&Fall、ALT、 イベント遅延(1~65535 イベント)、 時間遅延(10ns~10s)、ロジック*、シリアルバス	
	ホールドオフ範囲	10ns~10s	
	結合	AC、DC、LF rej、HF rej、ノイズ rej.	
	感度	DC ~100MHz 約 1div または 1.0mV 100MHz ~200MHz 約 1.5divまたは 15mV 200MHz ~300MHz 約 2div または 20mV	
外部トリ	ガ		
	範囲	±15V	
	感度	DC ~100MHz 約 100mV 100MHz ~200MHz 約 150mV 200MHz ~300MHz 約 150mV	
	入力インピーダンス	1MΩ// 16pF	
水平軸		1	
	水平時間レンジ	1ns/div~100s/div (1-2-5 ステップ) ロール : 100ms/div~100s/div	
	プリトリガ	最大 10 div	
	ポストトリガ	最大 1000 div	
	確度	±20 ppm (1ms 以上の間隔測定にて)	
	リアルタイム サンプルレート	2GS/s(2CH インターリーブ) 1GS/s(全 CH)	
	等価サンプリング	全モデル:最大 100GS/s	
	メモリ長	1CH 時:2M ポイント(10div) 2CH 時:1M ポイント(10div) セグメント時:1K ポイント(10div) 使用チャンネルの組合せやモードで変化します。	
	アクイジションモード	ノーマル、平均、ピーク、シングル	
	ピーク検出	2ns (代表値)	
	平均	2~256回、選択可能	
X-Y モ−	-ド		
	X-軸入力	チャンネル 1;チャンネル 3	
	Y-軸入力	チャンネル 2;チャンネル 4	
	位相差	±3°(100kHz にて)	

カーソル	と測定	
	カーソル	振幅、時間、ゲート機能あり
	自動測定	36 項目:
	電圧/電流	p-p 値、最大値、最小値、振幅、ハイ値、ロー値、 平均、サイクル平均、RMS、サイクル RMS、エリア、 サイクルエリア、ROV シュート、FOV シュート、 RPRE シュート、FPRE シュート
	時間	周波数、周期、立ち上り時間、立ち下り時間、 +幅、-幅、デューティ比、+パルス、-パルス、 +エッジ、-エッジ
	遅延	FRR, FRF, FFR, FFF, LRR, LRF, LFR, LFF, 位相
	カーソル測定	カーソル間の電圧ΔV(電流ΔA)差、時間差(ΔT)
	周波数カウンタ	6桁、2Hz~定格周波数までトリガ入力チャンネルの 信号を測定
コントロー	-ルパネル機能	
	Autoset	Single ボタン、全チャンネルの垂直、水平とトリガを 自動的に設定します。(Autoset 取り消し可能)
	パネル設定の保存	20 セット
	波形の保存	24 セット
ディスプレ	ノイ	
	TFT 液晶	8 インチ SVGA カラーTFTLCD ディスプレイ
	画面分解能	SVGA:800(水平)×600(垂直)
	補間機能	Sin(x)/x と等価時間サンプリング
	波形表示	ドット、ベクトル、可変パーシスタンス (16ms~10s)、 無限パーシスタンス
	波形更新レート	最大 80,000 波形/秒
	目盛	8 x 10 目盛
インターフ	フェース	
	RS-232C	D-sub 9ピン オス×1 インチねじ
	USB ポート	USB 2.0 ホストポート×1、
		USB 2.0 デバイスポート×1
	Ethernet ポート	RJ-45、10/100Mbps with Auto-MDIX
	(オプション)	IEEE802.3
	Go-NoGo BNC	最大 5V/10mA TTL オープンコレクタ出力
	ビデオ出力ポート (オプション)	SVGA 出力、D-sub15 ピン メス
	GP-IB (オプション)	GP-IB モジュール、IEEE488.2 準拠
	盗難防止ロック	スタンダードケンジントンスタイルロックを背面パネル の盗難防止スロットに接続可能
ロジックフ	アナライザ (オプション)	
	サンプルレート	500MS/s
	帯域	200MHz

	レコード長	最大 2M ポイント セグメント機能時は、1K ポイント/CH ロールモード時は、5K ポイント/CH
	入力チャンネル	デジタル 16CH (D15~D0)または 8CH(D7~D0)
	トリガタイプ	エッジ、パターン、パルス、
		シリアルバス(I ² C、SPI、UART)
	しきい値	4 種類; D0~D3,D4~D7····· しきい値
	しきい値の選択	TTL、CMOS、ECL、PECL、ユーザー定義
	ユーザー定義の	±10V
	しきい値	
	最大入力電圧	±40V
	最小電圧振幅	±500mV
	垂直分解能	1 ビット
言語		
	マルチ言語メニュー	使用可能
	オンラインヘルプ	使用可能
その他		
	Time clock	日付と時間、保存データの日付/時刻スタンプ
		コイン電池 CR-2032 による
	電源	AC100V~240V 50~60Hz
	消費電力	約 55W 80VA
	寸法	380 × 220 × 145 mm
	質量	約 4.2kg
	付属品	電源コード 1本
		プローブ 4 本/2 本
		アクセサリ CD-ROM 1 個
		製品を安全にご使用いただくために 1部
オプション	ン	
	DS2-LAN	Ethernet , SVGA 出力
	DS2-GPIB	GP-IB インターフェース

DS2-GPIB	GP-IB インターフェース
DS2-FGN	DDS ファンクションジェネレータ
DS2-08LA	8 チャンネルロジックアナライザ,テストプローブ
DS2-16LA	16 チャンネルロジックアナライザ,テストプローブ

11-1-3. プローブ仕様

DCS-9707/9707D 付属プローブ

	10:0:= 139=9+	-
プローブ名		GTP-070B-4
X10	減衰率	10:1
	周波数帯域	DC ~ 70MHz
	入力抵抗	10ΜΩ
		オシロスコープの入力が 1MΩ の場合
	入力容量	14.5pF~17.5pF
	適合容量	10pF ~ 35pF
	最大入力電圧	≤600V DC+ACpk
X1	減衰率	1:1
	周波数帯域	DC ~ 10MHz
	入力抵抗	1MΩ (オシロスコープの入力)
	入力容量	85pF~115pF
	最大入力電圧	200V DC+ACpk
動作環境	温度範囲	-10°C ~ 50°C
	相対湿度	85%以下

DCS-9710/9710D 付属プローブ

プローブ名		GTP-150B-4
X10	減衰率	10:1
	周波数帯域	DC ~ 150MHz
	立ち上がり時間	2.3ns
	入力抵抗	10ΜΩ
		オシロスコープの入力が 1MΩ の場合
	入力容量	14.5pF~17.5pF
	適合容量	5 ~ 30pF
	最大入力電圧	≤600V DC+ACpk
X1	減衰率	1:1
	周波数帯域	DC ~ 10MHz
	立ち上がり時間	58ns
	入力抵抗	1MΩ (オシロスコープの入力)
	入力容量	85pF~115pF
	最大入力電圧	200V DC+ACpk
環境	動作温度	-10°C~50°C
	動作湿度	≤ 85% RH

DCS-9720/9720D 付属プローブ

プローブ名		GTP-250A-2
X10	減衰率 周波数帯域 立ち上がり時間	10:1 DC ~ 250MHz 1.4ns
	入力抵抗 入力容量 適合容量 最大入力電圧	10MΩ オシロスコープの入力が 1MΩ の場合 約 17pF 10 ~ 35pF 500V CAT I、300V CAT II (DC + peak AC) 周波数によりディレーティングします。
X1	減衰率 周波数帯域 立ち上がり時間 入力抵抗 入力容量 最大入力電圧	1:1 DC ~ 6MHz 58ns 1MΩ (オシロスコープの入力) 47pF にオシロスコープの入力容量を加算 300V CAT I, 150V CAT II (DC + peak AC) 周波数によりディレーティングします。

DCS-9730/9730D 付属プローブ

プローブ名		GTP-350A-2
X10	減衰率 周波数帯域 立ち上がり時間 入力抵抗 入力容量 適合容量 最大入力電圧	10:1 DC ~ 350MHz 1ns 10MΩ オシロスコープの入力が 1MΩ の場合 約 13pF 10 ~ 25pF 500V CAT I、300V CAT II (DC + peak AC) 周波数によりディレーティングします。
X1	減衰率 周波数帯域 立ち上がり時間 入力抵抗 入力容量 最大入力電圧	1:1 DC ~ 6MHz 58ns 1MΩ (オシロスコープの入力) 46pF にオシロスコープの入力容量を加算 300V CAT I, 150V CAT II (DC + peak AC) 周波数によりディレーティングします。

11-2. DCS-9700 寸法図



11-3. よくある質問集

- 信号を接続したが画面に表示されない。
- ・ 画面から自動測定/FFT/ヘルプの表示を消したい。
- 波形が更新されない
- プローブで入力した波形が歪んでいる
- オートセットで信号が上手く表示されない
- オートセットで信号が上手く表示されない
- 印刷した画面の背景が暗い
- 日付と時間の設定が正確ではない
- 精度と仕様と一致していない。
- 信号を接続したが画面に表示されない。
 チャンネルがアクティブ(チャンネルキーが点灯)にしていることを確認してください。
- 画面から自動測定/FFT/ヘルプの表示を消したい。

自動測定の測定結果を全てクリアするには、Measureキーを押し、画面下メニュ ーの*測定項目消去*を押し画面右メニューの*測定選択*または*すべて消去*を選択し ます。55 ページを参照してください。

画面から全ての自動測定値を消去するには、Measureキーを押し画面下メニュ ーの*測定項目消去*を押し画面右メニューの*すべて消去*を選択します。[すべて表 示]を選択し、[オフ]を選択する。55ページを参照してください。

画面から個々の自動測定値を消去するには、Measureキーを押し画面下メニューの測定項目消去を押し画面右メニューの測定選択を押し VARIABLE ツマミで 選択して Selectキーを押し消去します。57ページを参照してください。

FFT 表示を非表示にするには、Mathキーを押します。66ページを参照してください。

ヘルプを解除するには Help キーをもう一度押します。44 ページを参照してください。

波形が更新されない。

Run/Stop キーを押し波形更新を再開します。Run/Stop キーが緑色に点灯。詳細については 47 ページを参照してください。 これで解決しない場合、トリガモードがシングルに設定されている可能性があり ます。(Single キーが点灯) シングルモードを終了するには、Single キーを押します。シングルトリガの詳細 については 47 ページを参照してください。

- プローブで入力した波形が歪んでいる。
 プローブを補正する必要があるかもしれません。詳細については、178ページを 参照してください。
- オートセットで信号が上手く表示されない。
 オートセット機能は、30mVのまたは20Hz未満の信号をキャッチすることはできません。手動操作で設定してください。オートセットの詳細については、46ページを参照してください。
- 内部メモリへファイルが保存できない。

USBメモリを USB ホストポート(前面または背面)のいずれかに挿入して使用しているとき、内部メモリに保存したい場合、Utilities キーを押して、ファイルパスを内部メモリへ設定します。

- 印刷した画面の背景が暗い。
 背景色を反転できます。白黒反転機能を使用してください。詳細については、
 161 ページを参照してください。
- 日付と時間の設定が正確ではない。
 日付と時刻の設定の詳細については、126ページを参照してください。解決しない場合は、クロックを制御する内蔵の電池が消耗している可能性があります。お買い上げの販売店または弊社へお問い合わせください。
- 精度と仕様と一致していない。

本器の仕様は、電源を入れてから 30 分以上エージングで周囲温度が+20℃~ +30℃内です。 本器の仕様は、周囲温度が+20℃~+30℃以内で、少なくとも 30 分以上エージ ングされていることを確認してください。仕様に適合するには、装置を安定させる 必要があります。

これ以上の情報は、お買い求め先又は弊社ウェブサイト、下記弊社メール アドレスまで、ご相談ください。

弊社ウェブサイト www.texio.co.jp 弊社メールアドレス info@texio.co.jp



株式会社テクシオ・テクノロジー

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-18-13 藤和不動産新横浜ビル 7F

http://www.texio.co.jp/

アフターサービスに関しては下記サービスセンターへ サービスセンター 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-18-13 藤和不動産新横浜ビル 8F TEL.045-620-2786